

竹安輝高 著

八面體質論詳解

日本和漢藥研究所蔵版

は し が き

学校を出て、薬剤師の資格をとって、人並みに薬関係の勤めをもって、僕としては必要に迫られてではあったけれど、仲間から「妙なものをやりだしたな」とか「変ってるな」とか言われる研究に入ったのは、昭和二十何年かで、第一に手をつけたのは「易学」であった。今にして思えば、これは間違いなかった。「易学」といつても「雑占」のたぐいではなく、東洋のあらゆる学問と深いかわりのある「易経」をもとにした易学である。（ここでわざわざことわるのは、一般に、どんな占いでもみな「易」とか「易学」とか言っている人が多いからである。）

或る日、紀藤先生の易学道場・尚聖館の門を叩き、一占をお願いした。これが深入りする契機になった。先生がはじめられた運命学専修学院で学び、道場で易占を習った。そのうちに先生のところへ、玄龍子・目黒八朗師がよく遊びに見えたので、ほかのお弟子さんと共に目黒師を紹介していたゞき、玄龍子相法をも勉強することになった。易のイロハを学んでいなかったら、こんなふう

にはならなかっただろう。その後「蒙色望診」「八面」の研究に入ったが、基礎は陰陽・五行にあることを知っていたから、進むことができたのである。

目黒師はたいへん変った人で、人づきあいがあまり良くなかった。紀藤先生とは特別親しくしておられたが、一般とはうまくいかず、たいへんすぐれた研究をしておられながら不遇であった。のちに『ノイガン』と名付けて発売するようになった塗布薬にしても、紀藤先生が故川本久嗣氏（薬剤師）と僕に研究を依頼され、その他二、三の人と語らって製薬会社を作り、軌道にのせたのであり、『蒙色望診』もたいへん難かしい文章だったのを、書き改めて世に出されたのである。これによって、目黒師は最晩年になって、その真価を知る人がボツボツ増えてきたのである。易占家や相法家の一部にしか知られていなかったその研究が、今では医師・薬剤師・各種治療師の中の心ある人びとから渴望されるようになったのは、「蒙色望診」が世に出てからである。

生前、目黒師はよく僕の勤め先へフラリと立寄られるようになり（一緒にビールを飲みながら）僕は「八面」についても議論を吹つけた。（青年客気の頃だから、どん／＼質問もし、怒らせもしたが、今にして思えばこれも良かった）

たように思う。御機嫌になると何でも話して呉れたから。易学・相法・蒙色・八面は、僕のしごとの上にも此の上なく役立った。やがて、漢方・鍼灸等がヨーロッパ大陸やアメリカで宣伝されるようになる、日本でも「東洋医学を見直そう」という風潮が盛んになり、僕らとしては当然と思えるようなことがマスコミにも取上げられるようになり、人びとは競って勉強するようになり、利用するようにもなった。僕も必要上、鍼灸の資格をとり、理論だけでなく、実際に多くの患者に接し、目黒師の「蒙色望診」「八面」応用の治験例をたくさん得た。はじめは、勤め先きの関係から、全国各地の薬剤師の先生方が対象であつたが、今では鍼灸治療の先生方や各種療術師の先生方も、「蒙色」「八面」の受講を希望され、理解される人が増えたことは喜ばしいことである。泉下の目黒師も我が意を得たりと喜んでいて下さると思う。

最近、目黒師が歿なられる前まで手を入れておられた「八面律発生機序・相法原基」の復刻が行なわれ、好学者に頒布されましたが、やはり師一流のむずかしさがあって、人によっては「手に負えない」という嘆きを洩らされる方があるかもしれない。目黒師自身（昭和七年発表）「観面秘録原理」からはじま

って、「四次元人相学 八面律発生機序 相法原基」に至るまで、（相法家指導を主目的にされたため）「八面律相法」「時空相法」「四次元性格学原理」「八面」などと書名を改められた跡が歴然とある。

この研究の多面性を表わしていることではあるが、むずかしい内容を、どう言ったらわからせることが出来るだろうか、と腐心されたさまが窺える貴重な著書である。僕としても此の本だけでは、充分にこなすことはできなかったであろう。幸いにして師の生前、直接門を叩き、ひき出すことができたから、ものにできたのである。今迄、求められるままに「蒙色望診」「八面」の講義を全国各地で行なってきたが、受講者の手許にはテキストがなく（前記、目黒師の昭和七年版はもとより、昭和三十年代に紀藤先生が発行されたものも、せいぜい百部ぐらいであったようだから、殆んど見掛けない）真に（理解してもらう）には、長年月にわたるマン・ツー・マンの古風な授受しかなかったのである。各地の受講者から、ヤイノ・ヤイノといわれ、やむなくペンを執ったのが本書であるが、さて、ペンを執ってみると……講義とは違い、一筋縄ではないものである。

目黒師がそうであつたように、僕も又、忙がしい紀藤先生の手を煩わさざるを得なかつた。旧力ナづかいを改め、むずかしい用語をわかりやすく整稿していたゞき……初校が出たとき呼ばれてやってみて、このしごこのたいへんなことがつくづくわかつたのである。

しかし、今はホツとしている。目黒師の「原典」の復刻本も出たし、それを基にして二十年にわたり研究してきた『八面体質論』の詳解をようやく送り出すことが出来たからである。僕自身、これをテキストとして、研究家の問いにどん／＼答えられるので、まとめ得て良かったと思う。「蒙色」「八面」の研究はこれによつて一層ひろがりもし、深められもするだろうと思う。

好学者の深化究明を願う次第である。

昭和五十三年秋

竹 安 輝 高

目次

老若男女

乳幼兒期

兒童期

少年期

前田之春期

青年期

老人

顔の経年変化

人種差のプロポーションと

發育のブローション

フリツチュのキャノン

童面と老面の構成

人種差の顔のプロポーション①

発育差の顔のプロポーション②

发育差のブローション③

男面と女面の構成

性的発達のプロポーション

女性と男性の顔のプロポーション

第三章

四四四四四三三三二二二一一一一一
七五五三一九九〇九四二九九七七五四一



第四章

若衆面と妾面の構成	五一
-----------	----

第五章

各論	五五
----	----

童面と老面	五五
-------	----

男面と女面	六三
-------	----

妾面と若衆面	七三
--------	----

遊女面と陰者面	七九
---------	----

遊女面と陰者面	八〇
---------	----

八面の命名のしかた	八三
-----------	----

八面と自律神経	一〇七
---------	-----

八面の才能特性	一一七
---------	-----

八綱と八面	一三六
-------	-----

ミネラルと八面	一五三
---------	-----

男面の体質改善法	一五八
----------	-----

女面の体質改善法	一五九
----------	-----

童面の体質改善法	一六〇
----------	-----

老面の体質改善法	一六一
----------	-----

食養と八面	一六七
-------	-----

第十一章

あとがき	一七三
------	-----



第一章 老若男女

クレッチュメルは其の著「体格と性格」の巻頭に、シェークスピアの『シーザー』の中の文句を引用している。

シーザー「わしのそばには頭の禿げた、しかも夜となればぐっすり眠る、肉付の良い男どもをひかえさせよ。例のカシウスは、あれはうつろな眼付をしている。あれは物事を考え過るのだ。あゝした輩は危険だぞ」

アントニウス「いえいえ、あの男を怖れなさいますな。あの男は危険では御座いません。あれは高貴な男子で才に恵まれております。」

シーザー「あの男がもっと肥っていさえすればなあ……」

ポーの『ちんば蛙』の最初の一頁も次の言葉で始っている。

「王様ほど冗談に感じやすい人はかつてなかった。まるで王様は冗談の為に生きていたようであった。冗談めいた面白い話をするのが、しかもそれを上手にするのが、王様の寵愛を得る最も確かな道であった。さればこそ王の七人の大臣は、何れも道化者として嗜みにおいて名声噴々たるものがあつた。彼等は無比の道化者であるのみならず、大きく肥って、膏ぎっている点でも王様とよく似ていた。人間は冗談を云つていれば肥るのか、それとも肥ることそれ自体の中に冗談が好きになる何物かが存在するのか、その点はまだ断定出来ないが、とにかく痩せた道化者なんて滅多にないことだけは確かである。王は洗練さ、すなわち王自身の言葉を藉りて言えば、機智の精神に関しては一向無頓着であつた。彼は洒落の太さを特に称美した、そしてその為にはしばしば長さもあえて厭わなかつた。余り微妙なものは彼を退屈させた。」

シェークスピアは、「痩せた人間が肥った者とは反対に、考えすぎる（神経質）から危険だ」と匂わし、ポーは「肥った人間は冗談を好む。しかもその冗談は、洗練された機智といったようなものではなく、粗野な線の太い冗談である」と言っているのである。

痩せた人と肥った人は、体格が違っただけでなく、性格に差異がある、と昔から言われてきたことを、有名な古典の中から拾い出してみたのである。シェークスピアやポーと同じように、われわれも両者のあいだに歴然とした差異があることを知っている。悪魔の像はたいてい痩せている。メフィストフェレスが肥っていたら、愛嬌者になり、悪魔たる資格を失ってしまうだろう。奸悪・陰險・敏捷な人物で、脂肪過多に悩むなどいうのはいないだろうし、反対に痩せた福の神などは考えられない。東大総長の有名な訓辞に「肥った豚となるよりも、痩せたソクラテス云々」というのがあったが、幽玄な哲理を説く思想家が、豚のように肥っていたら滑稽である。史上有名な哲学者はたいてい「鶴のように」痩せこけている。このように

へ常識的に見ても、体格と性格には相関性があることを推定できる。
クレッチュメルの「体格と性格」を概括していえば、

「性格の中心は気質であり、その気質は体質によって作られる。」
と云う考え方である。クレッチュメルは、体格を肥満型・闘士型・細長型と三分類しているが、われわれは性別と年齢別の老若男女という四種に分類し、更にそれぞれの混合型を入れて八分類し、これを「八面体」と称してきたのである。

まず、「成長発達」と「老化」の段階で、人のからだつきがどのようにになってゆくかを調べてみよう。

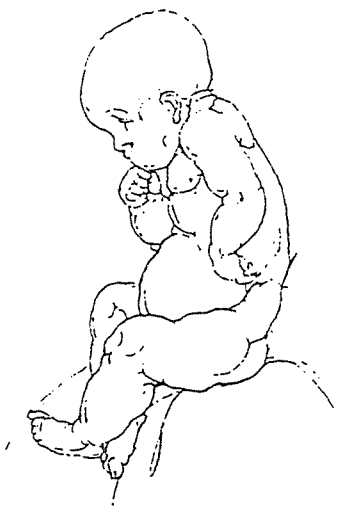
乳幼児期（〇歳～二・五歳） 第1図

赤ん坊は、胎児のプロポーションをしている。体幹に比べて、背の筋肉が発達していないので、背を真直ぐに保つことができないから前に曲る。脚と腕は外側に曲る。彼の全身は、ほとんど頭部と体

幹で占められ、四肢は短くきしゃである。脳は非常に早い時期に発達し、生れたときにはすでにほとんど完成しているから、頭部は大人（おとな）の頭部に比べて大きい。また顔面頭蓋は、脳頭蓋に比べて小さい。胴は、肩幅が広く、骨盤はあまり発達せず、横径に比べて縦径が短く見える。肋骨は水平に並んでいる。腹部は非常に発達して袋のように突出している。それは肝臓が大きくて肺を上方、胸郭の中に押上げているのに、それでも腹腔の大部分を肝臓が占めているからである。（第3図・第4図参照）

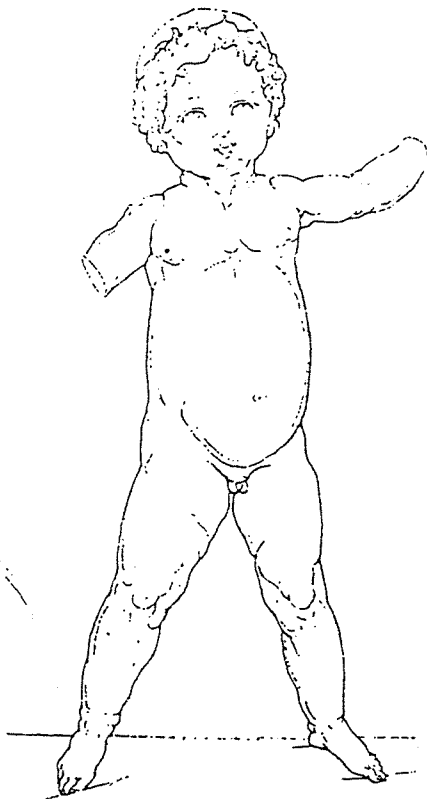
児童期（二・五歳〜六歳） 第2図

むっちりと肥って、胴は長く幅が広く、四肢は相対的に短い。顔面は脳頭蓋と比較してさほど小さくはなくなっているが、依然として横にひろくまるい。胸郭はまだ円筒形で、胸部下方の開口部は相変わらず大きな腹部の上で、朝顔型に広がっている。四肢の筋肉の隆起は未だ表われない。



第1図

乳幼児期



第2図

児童期

少年期（六歳〜十二歳）

この年齢は赤ちゃんらしさからの脱出である。ふっくらとした頬の児がもつ「ぽってりと太った容貌」を失ってゆく時期である。

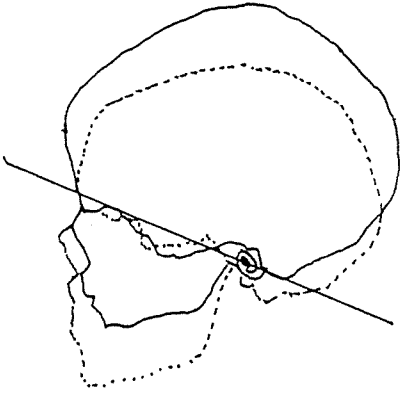
前思春期（十二歳〜十四歳）

この時期は、思春期の成長のスパートがみられ、また一部の子供はすでに思春期に達する。成長は幅の方向よりも長さの方向に著しく表われ、特に四肢の長さの成長は顕著である。体幹はあまり大きくならないので、相対的に胴が短い。体重増加が伴わない。そのため此の時期の子供は、プロポーションが誇張され、カリカチュア化される。彼はほっそりとし、やせこけているので、背高ノツポ、足長の姿態をしている。そして身体各部のプロポーションは、調和がとれていない。たとえば体幹は短く細いのに、四肢はやけに長い。筋が成長と平行して発達していないので、姿勢を正しく保つのが困難で、猫背であり、肩甲骨は胸郭から離れている。（翼状肩甲骨）態度はぎこちなく、無器用なので、思春期特有のいろいろなトラブ

ル（この時期を「反抗期」とよぶことが一般的になっている。）を始め。

第3図

脳頭蓋と顔面頭蓋の比
（実線は新生児、点線は成人）



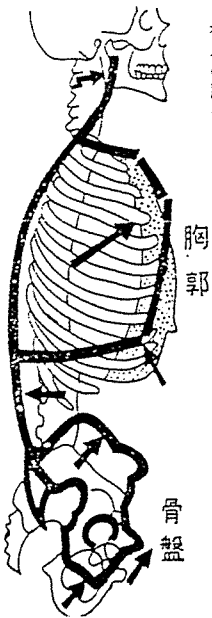
第4図

幼児の胸部



第5図

老人の胸部



青年期

青年期は、思春期に始まり、成熟期へと続く。思春期は生殖腺の成熟と二次性徴の出現が特色である。思春期は、女子では初潮によって、男子では精子分泌の可能性によってマークされる。思春期とは、ひとつの急激な変化、其の内分泌革命であって、身体の形を変えただけでなく、プロポーションをも変えてしまう。身体が変化し顔立ちや体格も変わり、こどもは成人になる。

また思春期は、生殖腺と二次性徴の発育状態によってのみ特色づけられるのではない。それらの他に、次の三つの現象も観察される。ごく近い将来に成長速度が低下すること。

体幹の幅径が広くなること。

筋系と骨格の発達

成長度の低下は、ひとつの重大な現象である。思春期の前、女子では十一歳、男子では十三歳に、思春期の成長スパークが始まるが

これは、思春期の間ずっと続く。そして思春期の末期に成長は抑制される。そして思春期後スパートは現われない。

思春期前と思春期中の成長のスパートは、選択的に下肢に集中する。そのため特に下腿が長くなる。思春期が終了する際、体幹部が長さと共に幅も著しく増大するので、再び調和がもどってくる。そして比座高(坐高/身長)は大きくなり、また正常値に戻ってくる。

この値は、男子で思春期の始めに五一・六、思春期の終りでは五二・六である。この現象は、女子に一層著しく、女子は必然的にずんぐりした体型になる傾向をもつ。より正確に近い表現をすると……大腿の成長は両性の絶対値が類似しているので、女子の体幹部の伸長は、女子の下腿の相対的な短かさを補っている、ということになる。その結果、腿示数(大腿長に対する下腿長の割合)は、成人における二次性徴となる。

体幹部の横径の発達は、両性に見られるが、その発現のしかたが男女で異なる。肩峰幅は少女では狭かったが、思春期には同身長の子

年の値に追いつく。が、女子は思春期が早いために、早く停止してしまうから、肩は最終的に女子は幅広くない。男子の肩幅の広いがっしりした体格は、思春期の成長期間が長いことに由来する。鎖骨は二十五歳まで成長するから、この年まで肩幅は増大し続ける。

胸囲も肩幅と同じ成長をするから、最終的には女子のほうが小さい。

前腕と下肢は、共に男子より女子のほうが短く、外転する。

骨盤は、男子と比べてすでに広かったものが、思春期になると突然、しかも強く促進するので、女子の骨盤は男子より幅広くなる。

この変化は真の二次性徴である。

筋系の発達には、もう一つ別の思春期の特色であって、男子では皮下脂肪がより薄いため、筋の発達がよくわかるが、女子でも同様、重要な現象である。筋系の発達は長管骨の厚さの増大を伴う。簡単に言えば、すべての成長は横の方向に表われる。これら筋と骨の成長の結果は、体重の増加となって現われる。

これらのすべての現象は、思春期をひき延ばし、また青年期に終止符をうつ成熟期において強調され、強化される。男子では少し脂肪がついて筋と骨との發育が不完全だったために、少女っぽくみえた体つきが消えていく。そして成年者の解剖学的、生理的特徴を、少しづつ獲得していく。成年に達した人の体の特徴は、最もよくバランスがとれていることである。

老人

老人の形態では、次の二項目が研究される。

身長及び体のプロポーションに及ぶ変化

頭部、とくに顔の変化

身長は、人によつては三十歳まで伸びつづけ、三十歳から四十歳まで同じ値を保つ。その後ゆっくりと確実に減少し、次いで急速に減少する。八十五歳で人は平均六cm以上も背が低くなる。しかし身長の減少は全身で一様に起るのではなく、特に体幹の高径が減少す

ることによる。すなわち脊柱のカーブが強くなり、椎間板の厚みが薄くなり、椎骨自体も変生する。坐高の低下は七十歳以上一層強調される。その結果、老人では四肢が相対的に長く、少年期のことものような体型に戻ることになる。胴が相対的に長いのは、赤ン坊と年若い成人だけの特徴である。

肩峰幅は、二十五歳〜五十歳まで徐々に広くなり、五十歳後は一定の値を保つ。これはまさに説明困難な現象である。というのは此の年齢範囲では幅径が増すというのが理解できないからである。鎖骨の骨化は二十五歳でその歩みを止める。その後著しくなるがつしりとした肩幅は、いわゆる肉付きと脂肪によると考えられる。老人では肩幅が減少したようにいわれるのは、肩先が下へ落ちてしかも前へ突き出した姿勢が、固定してしまつたためである。

骨盤幅も肩峰幅と同じような経過で変化する。しかし骨盤幅の場合、理由が単純で、脂肪、とりわけ胴溝の下に形成される正常な脂肪の隆起が増大するためである。

体重は、五十歳まではゆっくり増加し、五十歳から十年間是一定値を保ち、六十歳を過ぎると減少する。

胸郭幅は、肩幅と同様、五十歳迄徐々に広くなる。(これは脂肪沈着による)そしてその後は狭くなる。胸郭の厚さも五十歳まで増すが、五十歳後は安定する。老人の水平断面は成人期の橢円から少し円に近づく。ここでもまたこともの体型に戻るわけである。

(老化現象——本卦還りの現象)第5図参照

顔の経年変化

顔の大きさは、三十歳と三十五歳ごろ最大になる。顔が長くほっそりするのはこの年代である。その後、顔面高、とくに顔の下部の高さはだんだん減少する。歯の磨耗、歯槽縁の侵蝕、そして歯の脱落が起こる。歯を支えていた歯槽はそのため萎縮し、顔はより短かく、より小さくみえてくる。

鼻は、五十五歳までどんどん長くなる。鼻背はしばしば凸型となり、幼児型である凹型になることはほとんどない。鼻尖は下がってくる。鼻幅もやはり一生を通じて広くなるが、これはもちろんごく



第6図

顔の老化。破線は成人，太線は老人の顔のプロフィール。細線は老人の骨格。上・下顎歯槽縁の萎縮と下顎角の拡大がみられる

僅かである。いずれにしても鼻は五十五歳を過ぎると、非常に大きく、また幅広く見えるようになる。老人の顔立ちはこのようにして形成されていく。

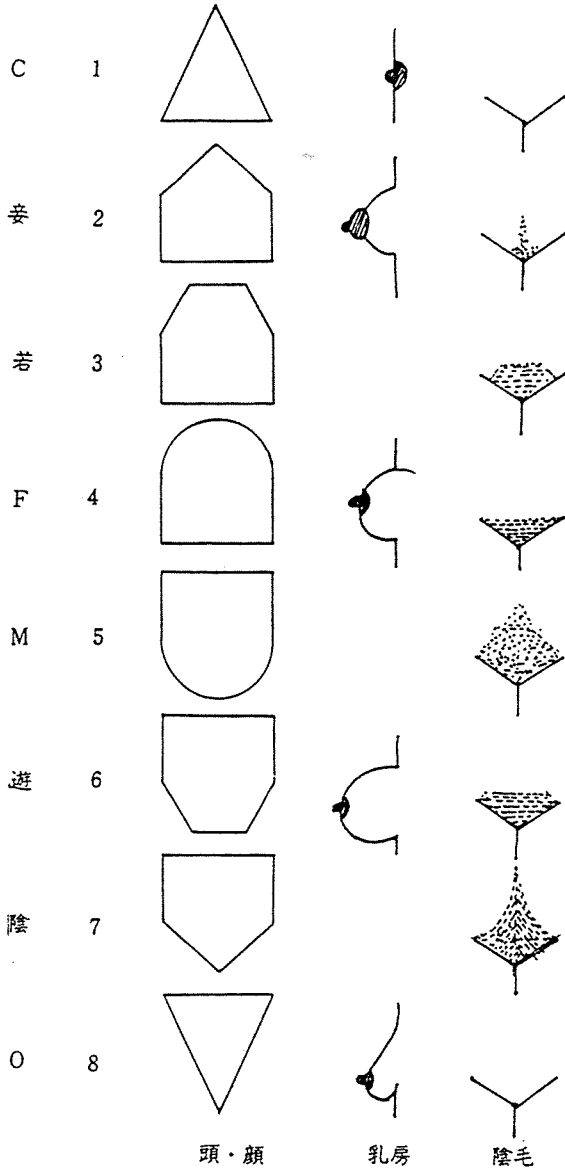
頭は、突出たようにみえる。なぜならば下顎枝と下顎底のなす角が鈍角になり、同時に歯の脱落後齒槽縁が萎縮してくるからである。上下顎の咬合は、もはや若いときと同じではなく、頭は前、上方に突き出てくる。同時に唇は薄くみえるようになる。

その他、軟部形質にも変化が現われる。すなわち、毛髪はまず色が濃くなり、ついで五十歳以後急激に灰色がcaつてくる。毛はより太く、硬くなり、波状毛や巻き毛の割合が減る。こめかみの毛が抜け落ち、額からこめかみにかけた部位の毛髪は後退していく。その結果額が広くなったようにみえる。禿は頭の一部に限られていることもあるが、頭全体に及ぶこともある。髯（髭・鬚ともに）も毛髪同様薄くなる。

最後に、頭型・顔型・二次性徴（女子の乳房と陰毛）の経年変化

第7図

をまとめると、第7図のようになる。



引用文献 Morphologie et Type Humains by Dr Georges Oliver

人種差のプロポーションと発育のプロポーション

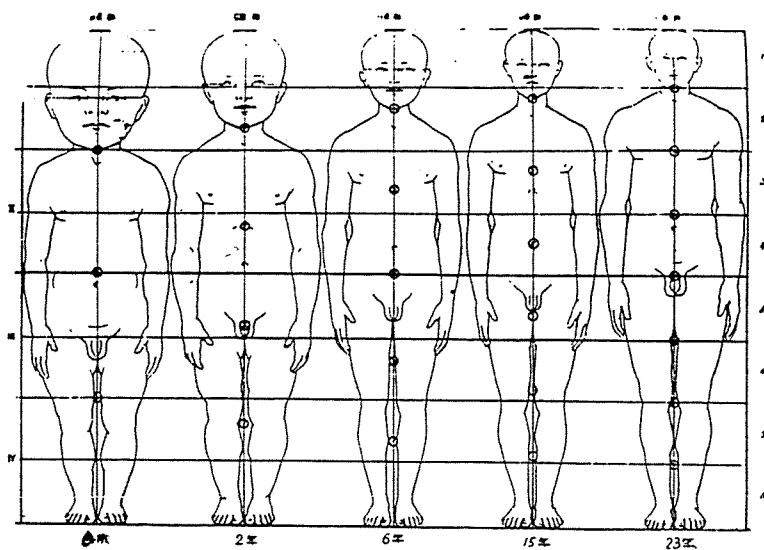
8 図はシュトラッツの伸長比較であつて、新生児、二歳、六歳、十五歳、二十三歳の成長段階を同大に組合わされたものである。

この図は、頭と身体の他の部分の変化のほか、軀幹や四肢における他のすべての変化も、容易に読みとることができる。身体の中胸部が低くなる点、軀幹が相対的に短くなる点のはっきりしている。

また身長や体重は個人差が大きいという理由で、人種を決める確実な尺度とならないが、身体各部の比率の方は、遙かに確実な拠りどころとなっている。原形人種のアフリカ人の身体各部の比率を、フリッツュのキャンソンに照らしてみると、脚は標準的長さをしているが、腕は長過ぎる。

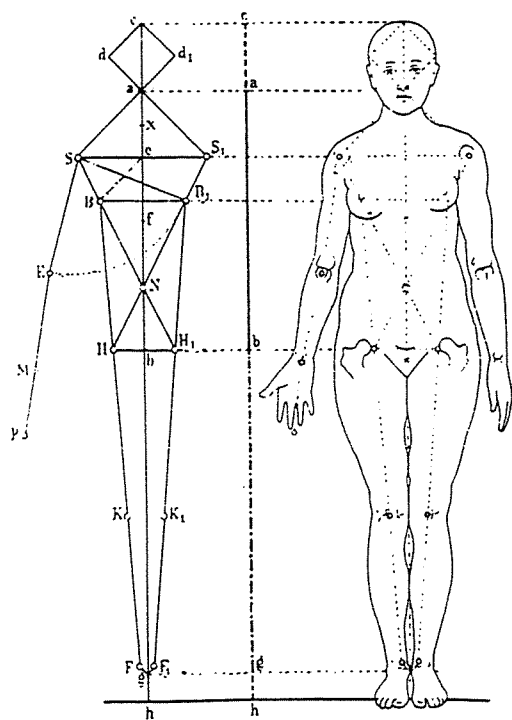
第8図

シュトラッツの伸長比較

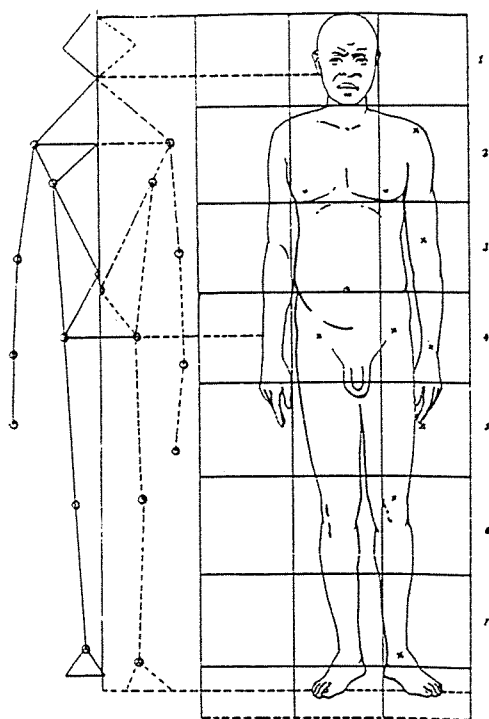


フリッチュのキャノン

与えられた図の恥骨上縁から鼻の下端までの距離に相当する背柱の長さが、組立の基本尺度（モジュール）として用いられる。（線分 $a-b$ ）更に a b 線は四つの同じ小モジュールに分けられる。肩 e 、臍 N 、胸骨下端 f で、上に小モジュールを伸すと頭頂に来、 e から左右に伸すと肩幅が出、 b から $\frac{1}{2}$ 小モジュールずつとると股関節幅が出る $H H_1$ 、相対する股関節と肩関節を結ぶと N で交叉する。 S 及び S_1 から a を経て引かれた線が C からの垂直線と、一個の正方形を作り、その対角線 $d \cdot a$ は、頭蓋の幅 \parallel 小モジュールになる。 e から引かれた $s \cdot d$ に対する平行線は、 B すなわち乳頭の高さのところまで線 $S H_1$ と交叉する。 B と H を結び、この線を下に延し、その延長の上に線 $H B$ を移すと、 $H K$ 、すなわち大腿の長さが出、更に下へ $H B$ を移すと $K F$ 、下腿の長さが出る。同様にして腕の尺度 $S B$ を移して $S E$ 、すなわち上腕の長さを得、 B 、 N を移し $E M$ 、すなわち前腕

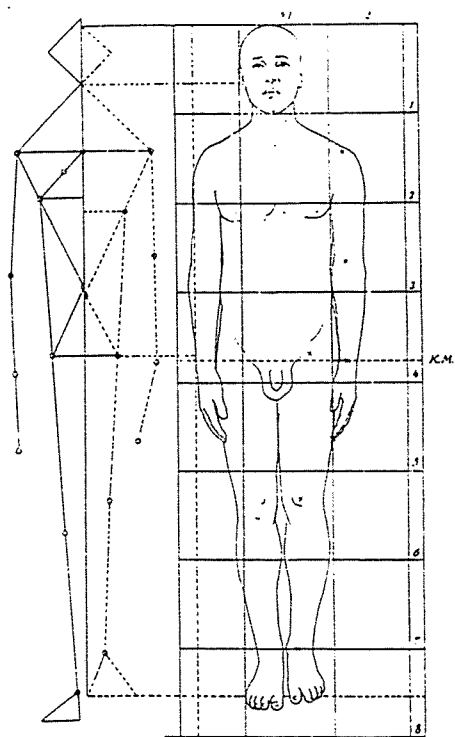


第9図



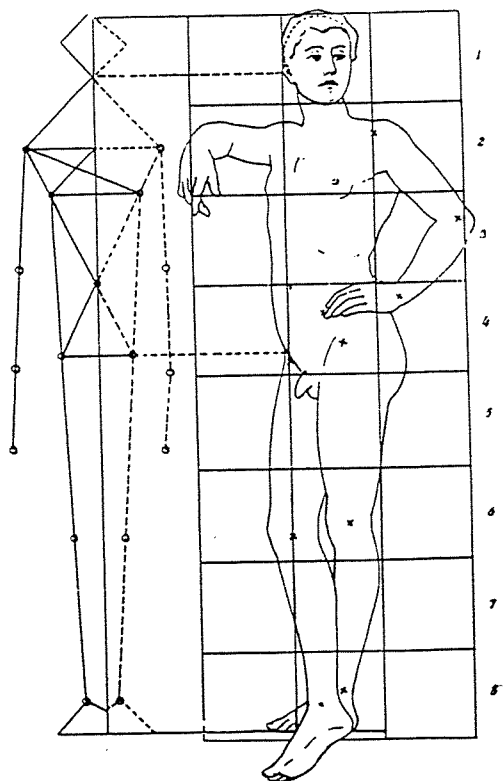
第10図

ネグロの身体各部の比率 (黒色人種)



第 11 図

中国人の身体各部の比率 (黄色人種)



第 1 2 図

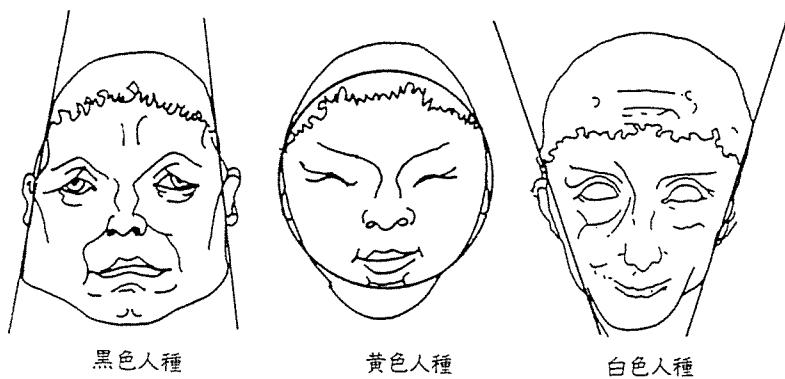
18歳の若者の身体各部の比率

の長さを得、それにNHを移してMP、手の長さを得る。足の長さはebと一致し、足の高さはこの線の上の一片と一致する。原形人種にあっては、脚は標準的長さをしているにも拘わらず、身長は六・五倍しかないのである。

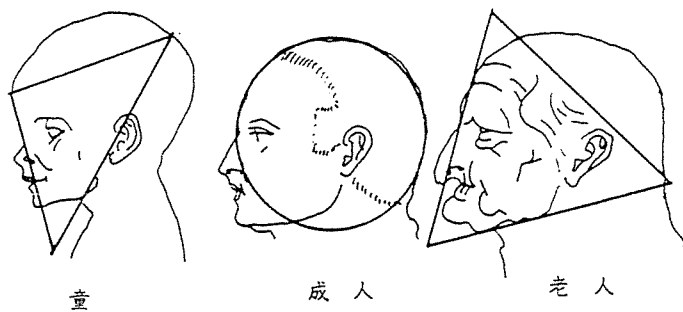
ネグロでは、身長が頭身の七・二倍で、手足はみな長すぎることをわかる。(第10図)

中国人では、身長が頭身の七・五倍で、手足はみな短かすぎる。白色人種の代表者として、美しい体格をしたミュンヘンの若者は八頭身で、完全に標準的な身体各部の比率を見せている。(第12図) この比率は、選り出された標準的な六〇〇例において、常に同一の特長的な人種差を確認できる。

ここで注目すべきことは、腕が長すぎるという原形人種は、六歳十歳の白色人種とは同じ身体各部の比率を示し、黒色人種は十五歳の白色人種と同じく、黄色人種では十五歳十七歳の白色人種とは同じ身体各部の比率を示すことである。



第 1 3 図 顔の空間的变化



第 1 4 図 顔の時間的变化

この事實は、地域差や人種差がどうあろうとも、同じ身体比率を持つ者は、体質・氣質ともに同じ特性をもつことであり、また動物型であろうと進化の進んだ人間型であろうと、白色人種の年齢的身体比率のどれかに入ってしまうことである。言い換えると、南方黒人型や北方ヨーロッパ型といった地域（空間）差を基準型（白人）の幼老という年齢（時間）差に置き換えることができる、ということである。

今度は逆に、時間差を空間差に置き換えることもできる。

9 図に示してあるように、性腺機能障害によって、性的発達の阻害された白人男子は、手足の長すぎる黒色人種型10図の身体比率に止まってしまうことがわかる。このことは、性的發育不全（幼童）という時間差を、黒色人種型という時間差に置き換えたことになる。この時空即一の原理が、「八面体質論」の特異性であって、人相としてこれを捉えると、東洋人であろうと西洋人であろうとエスキモーであろうと、古代人であろうと現代人であろうと、基準型の体

型・顔型に置き換えて判断できるから、例外なくキャッチできる特異性を備えている。

これが玄竜子の「観面秘録（四次元人相学）」という人相書の基本である。これを医学として捉えようとしたのが、筆者の「漢方医学論」である。

時空即一の原理を、一目瞭然できるようにしたのが第13・14図である。

（註）玄竜子の「観面秘録」とは、最近『八面律発生機序 相法原基』という書名で復刻されたもので、かつて「観面秘録原理」として発表された。

また、筆者の「漢方医学論」は、此の『八面体質論詳解』中に含んでいる医学論をいう。

第二章 童面と老面の構成

人種差の顔のプロポーシヨン ①

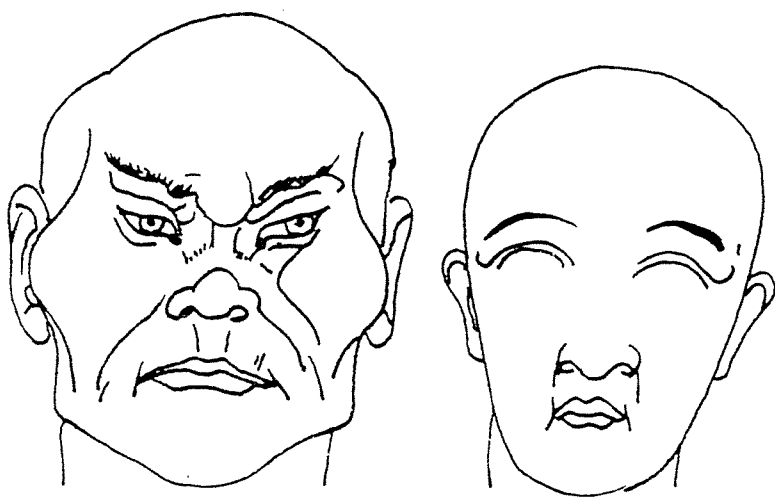
原形人種や黒色人種に共通した未進化的な顔のプロポーシヨンと、白色人種にみられるような進化型の顔のプロポーシヨンを比較してみよう。

未進化型(15図)は進化型(16図)に比べて、額が後退している。眉の骨が凸出している。鼻骨が低く平たく、鼻孔が上を向いている。頬骨大きく眼窩へ向けて凸出している、鼻から頭への側面の輪廓はアーチ型、額は後退、額は大きく後退、眼は小さく吊上り、口また大きく歯も大きい。

これらの未進化的の特長を持った顔を、本質童面」とよび、この特長を逆にした顔を「本質老面」とよぶことにする。

下あごの先端

正面图



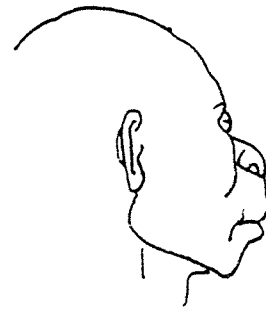
第 1 5 图正面

第 1 6 图正面

側面図



第16図側面



第15図側面

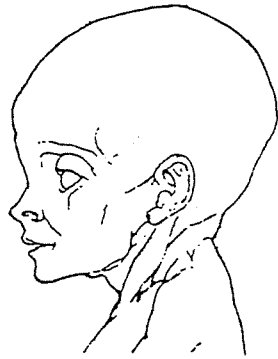
発育差の顔のプロポジション ②

発育差の顔のプロポジションを表わすには、未熟な幼児の顔と成熟しきった（老化した）老人の顔を比較すればよい。

幼児の顔は老人の顔に比べて、

脳頭蓋が顔面頭蓋より大きく、耳は低く、額が狭くしかもおでこが凸出している。眉はやや高い。眼は大きく、鼻骨低く鼻梁が凹んでいて、鼻全体が小さく鼻孔は前方に開いている。頬は顎域より前

方にぶら下っている。頭は小さく、その下は脂肪でだぶついている。口は小さい。(下唇が特に小さい)首が短い。肩は高い。後頭部は凸出し、背中は平坦である。(第17図)



二義童面 第17図



二義老面 第18図

以上未熟型の顔の特徴を列記したが、このような顔を「二義童面」とよび、これを逆にした顔を「二義老面」とよぶことにする。

ここで注意すべきことは、「本質老面」と「二義老面」はあまり変らないから区別して覚える必要がないが、「本質童面」と「二義

童面」は大きく異なっていることである。

本質童面が動物に近い顔であるのに対して二義童面は可愛い、いわゆる童顔であることである。動物に近い顔と可愛い顔は、違いがありながら、我俣で厚かましいところは共通している。（童面の性格の一端）

発育差のプロポーション ③

発育差の両極端（子供と老人）の次に、中間型として成人男子と女子の顔がある。そこで子供の顔と女子の顔のプロポーションを表わしてみよう。（第19図）

女の顔に比べて子供の顔

脳頭蓋が顔面頭蓋より大きい。鼻根は凹み鼻は小さくて上に向き、鼻孔は前方に開く。耳は低い。おでこは凸出。眼は大きい。口は小さいが厚く短かく、上唇は上へそる。額は小さく顎の下肉はだぶつく。後頭部は凸出、首は凹み短かい。

が早く成長する。

(子供の鼻と女子の鼻でわかるように、鼻は高さよりも長さの方が



第19図 子供の顔と成人女子の顔

第三章 男面と女面の構成

性的発達のプロポーション

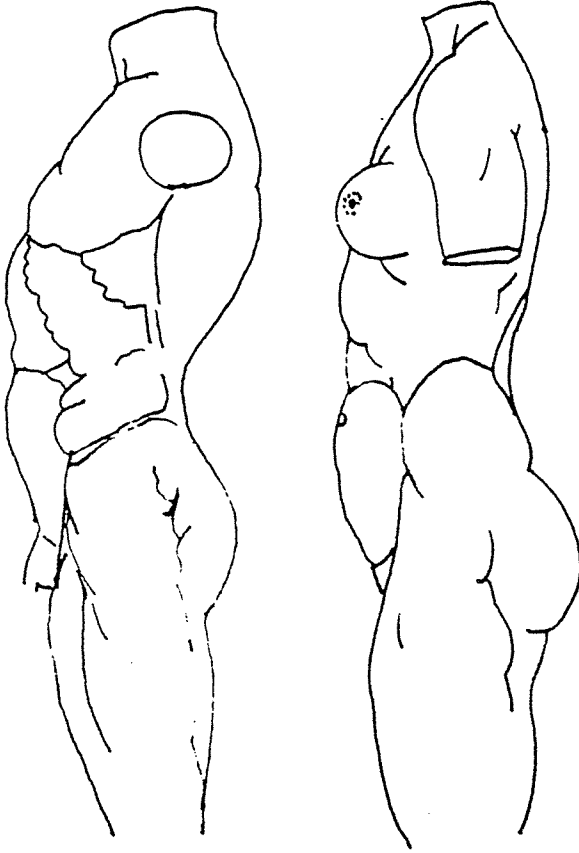
中間型の男と女のプロポーションの差は、成長発達の中間型というよりも、性的発達のプロポーションとして表われるものである。これをふつう第二次性徴というが、その体と顔のプロポーションの差を比べてみよう。

男性と女性、体のプロポーションのちがい。女の体は、その構造の主要部分は性機能に適しているといえる。また全体の完成した体は、成熟していても男性よりこどものように見えるものである。

男の体に比べて女の体は

骨格が小さい。関節がゆるやかである。肩と背が弱々しい。胸も薄く、腹は低くふくらみがある。腰の上部や背中が小さく薄く弱々しく、また平坦である。骨盤・上腕・大腿の皮膚は厚い。手と足も

小さい。肩甲骨が小さい。そして顔面頭蓋が脳頭蓋より小さい。女の腕や体の動きの特徴は、一般に腰に由来する。女の体は男よりも小さい。



男

第20図

女

女性と男性の顔のプロポジション

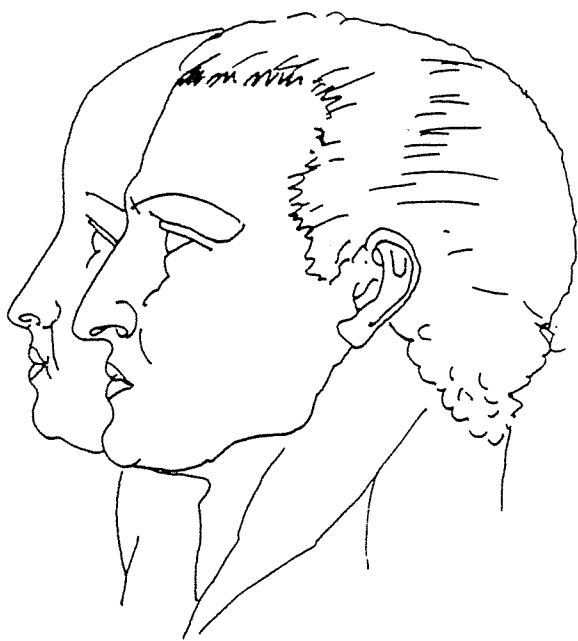
男の顔に比べて女の顔は

脳頭蓋が顔面より大きい。額は狭く低く、おでこは凸出。眉丘低く眉間の隆起小さい。眼は大きく、耳はより低く、頬骨低くて狭い

第21図 女の腕や体の動き



鼻骨の隆起小さくその肉も薄く、鼻先は持上り、口唇は唇が厚く、口唇粘膜は皮膚域より大きい。頭は隆起が小さい。後頭部凸出。
(短かった子供の鼻は、女で長くなり、男で高くなる。女子の骨格や筋肉は男子に比べて小さく、發育不全の小児型に近い。)



第22図

八面では、女の顔と女の体のプロポーションをもつ者を、男女に拘わらず「女面」とよび、男の顔と男の体のプロポーションをもつ者を「男面」という。

24図は男性特徴の多い顔で、女性特徴の少ない顔である。このような顔を「男面」とよぶことにする。

第23図



第24図



また23図は、女性特徴が多くて男性特徴が少い顔なので「女面」とよぶことにする。

引用文献 William Kummer ART ANATOMY

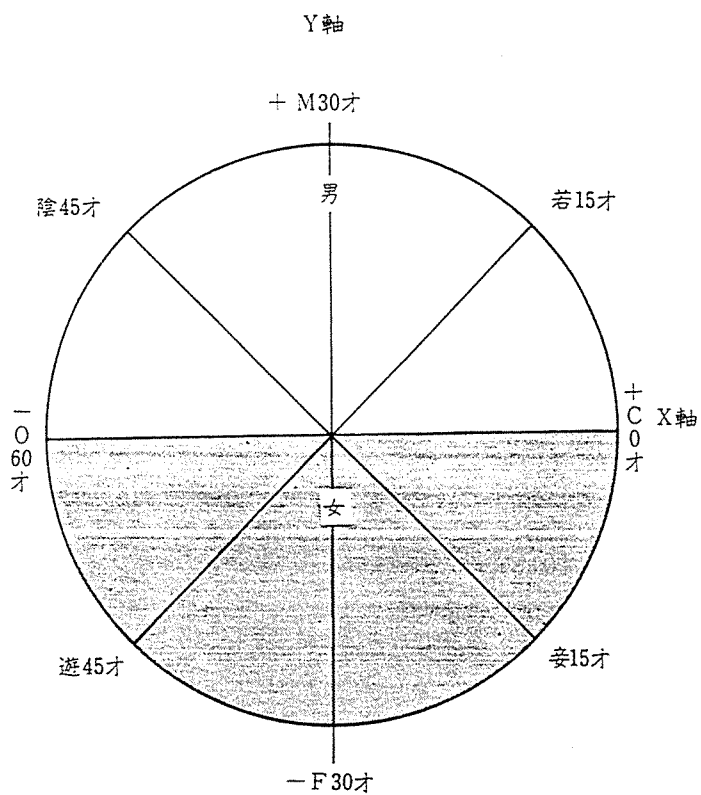
第四章

若衆面と妾面 陰者面と遊女面の構成

今X軸とY軸が直交する零点にて円をかき、X軸と円と交わる交点のプラス側をC、マイナス側をOとする。同様にしてY軸との交点のプラス側をM、マイナス側をFとする。そうするとX軸上のCからOまでは成長発達、零からOまでは老化の線とする。同様にして零からMまでは男子の性的発達で、零からFまでは女子の性的発達とする。(25図参照)

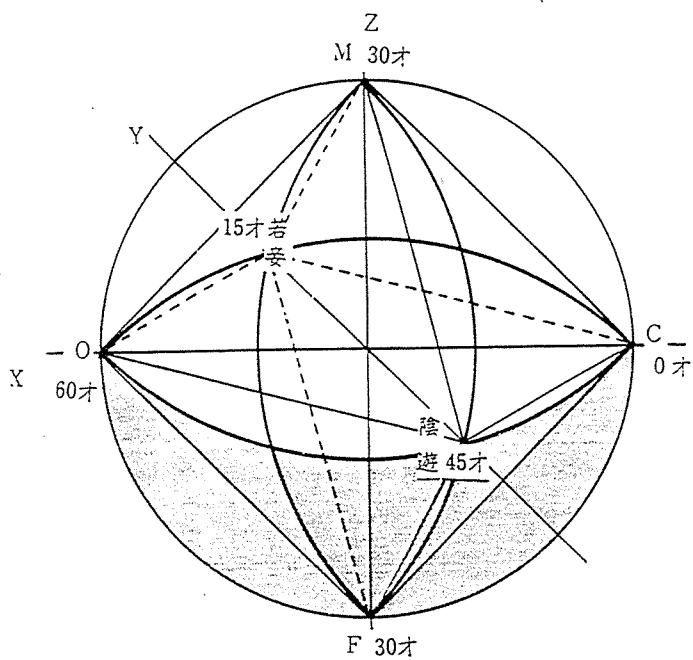
平面配当では四面だけで、あとの四面が出てこない。つまり球面配当をしなければ八面配当にはならないので、更にZ軸を加えると第26図のようになる。

立体配当にすると、X軸のC、Oはそのままが良いが、Y軸のMとFはZ軸上に変り、Y軸には若・妾と陰・遊が位置するようになる。



第25図 平面配当

ここで注目すべきことは、若・妾点であり、陰・遊点である。
若・妾点は思春期であって、十五歳前後に相当し、陰・遊点は更



第 2 6 図

立体配当

年期の四十五歳頃に相当する。そこで人間の一生は、童面で生まれ、十五歳までは男女共童面線上を歩むが、十五歳の思春期で男子はZ軸を+（プラス）の方向に歩き（太い実線上）三十歳で男面となり四十五歳の更年期で十五歳の頃別れてZ軸を-（マイナス）の方向（太い実線上）に歩んできてFの女面となり、更に四十五歳でXY軸の平面にもどってきた女子と逢い、共に六十歳まで平面上をO点まで進んで、一生を終ることになる。





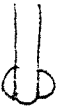







以上からわかるように、若衆面は、童面と男面の合成型であるから、子供のくせに煙草を吸ってみたりする生意氣盛りの、背高ノツポ、足長のプロポーションでカリカチュア化されるはずである。このように、背高ノツポ、足長は、男面にも童面にも属さない独特なプロポーションがあるので、童面が主でやや男面に入るCM、男面が主でやや童面に入るMCで処理できず、新しく「若衆面」と決めたわけである。







以下、妾面、陰者面、遊女面も、同様と理解されたい。

第五章 各論

童面と老面

								本質	
眉骨	頭骨	頭(顔)型	口	顎骨	頸	頭頂骨	後頭骨	身長	
高	大過か小過	額を頂点とする 三角形	凸出	張出す	後退	高	低	低	C
中	中	角丸	中	中	中	中	中	中	M F
低	大過か小過	額を頂点とする 三角形	凹	前進	凸出	低	高	低	O

											二 義	
鼻 翼	鼻 梁	鼻 尖	両 眼 間	涙 丘	角 膜 の 色	上 眼 瞼	虹 彩 位 置	角 膜	瞳 孔	虹 彩	眼 裂	
小	短く低し	尖る	狭	大	青	狭		小	大	大	大	
							 下 三 白				 C	
中	中	丸	中	中	浅 黄	中		中	中	中	中	
											 M F	
大	長く高し	尖	広	無	白	広		大	小	小	小	
							 上 三 白				 O	

耳	耳	耳	耳	対	耳	耳	耳		鼻	
大	向	幅	長	輪	位	位	垂		骨	
小又は過大	前方	小	短	出	上	前上	なし		細	C
										
中	中位	大	中	中	中	中	中厚し		中	M F
										
大又は過小	後方	中	長	人	下	後下	大薄し		太	O
										

性 格					三 義			
		情 緒	動 作	目 付	表 情	乳の位置	顔面皮膚	頭 髪
進取、新奇好み、陽気、 押々しい、勇敢、大胆 奪う、戦う、憎む	出しやばり、厚かましい、あけすけ、わがまま、 自己中心、頑固、疑い深い、やきもちやき、 ひがみっぽい、ひねくれ	不安定	騒々しい	落付かない	演出的	下 付	白 薄	太く剛し
						中 付	中 厚	中
保守、食はずぎらい、ぐらっぱい、泣きべそ、 陰気、氣づまり、臆病、心配性、取越苦労、与える 和す、愛す		静 か	静 か	落付く	固 苦しい	上 付	黒 薄	細く柔し

童面の運命

童面は、子供と同様で、公私、上下、自他、主従の区別がつかず又、節度がない。だからたとえ富家や名門に生れても、家族、使用人を取締ることが出来ず、それぞれが離反して、家を破るに至るものが多い。また他人に対しては世話好きで、一生懸命骨折ってやるが、自他のけじめがないからやがて裏切られる。子供は生れても女子が多く、男子はできても頼りにならない。

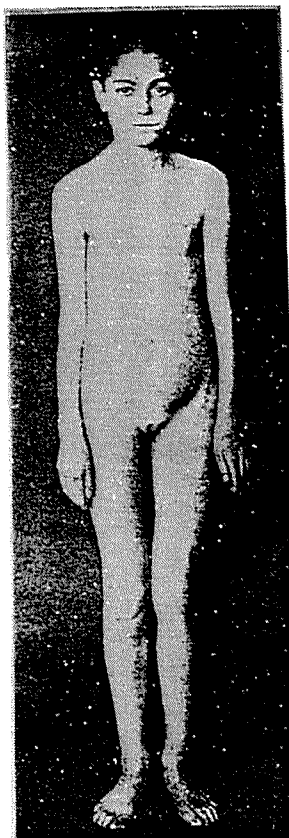
童面の女子は、子宮の發育不全から流産しやすい。又、縁が度々変る。その理由は妻或いは母親としての意識（自覚）の不足から、子供の将来も考えず簡単に離婚してしまったりするのである。自分を考えず不義に身を墮す者もある。このように節度がないということでは、男子で童面の者も同様で、養女を妾にしたり、他人の妻妾と関係をもったり、自他の区別がつかないこどもみたいなどころを

持っている。人に無理を押しつけ、親兄弟や夫は妻の、妻は夫の心情に逆らい、しかも各々で、慾が深いのは、寸づまりの眼鼻立ちをした凶相に、このような者が多い。

罪の意識のない本質童面に、実行力（M）の入ったCMは、犯罪の中でも暴力犯である。

童面の吉相としては、目鼻立ちよく開き、音吐朗々たる者は豪傑勇者に多く、現代では学者・宗教の開祖・宗教改革者、また芸能方面では、書家・画家・歌手・声楽家等の成功者が多い。

次頁女は二次性徴が何一つない、子供らしい構造を示している。乳房はなく、体毛も生えていない。腰にも大腿にも、腕や肩にも、成熟した女の脂肪肥満が見られない。胴はどこも同じズンベラボアの円筒形を示している。ウエストも緊っていない。骨盤も狭く、腹は袋のようにふくらんでいて、はっきりした境界がなく（骨盤線α腹線b）陰阜に移っている。



正常な女の腹

右の写真は、正常な身体をした十二歳半になるドイツの子供で、発育上の調和がよくとれていることが、一見してわかる。

ミュンヘンの十二歳半になる 小児型をしている三十歳の女
正常な身体の少女 (マイゲによる)

一 義										
手 足	頬 骨	頭	胸と顔面	胸	関 節	背	肩	骨格筋肉	体 格	本 質
小	狭く後退	小	脳頭蓋大	薄 い	緩 い	狭く細 い	狭く弱々しい	發育不良	胸小 腹大	女 面(F)
大、静脈浮上る	広く張り出す	大	顔面頭蓋大	厚 い	締 る	広く厚 い	広く逞ましい	發育充分	胸大 腹小	男 面(M)

男 面 (M) と 女 面 (F)

二
義

(耳) 対輪	齒	唇	鼻 翼	鼻	鬚	揉上、襟足	眉	髪	血色、脂肪	皮膚	顔 造作
凹	小	厚、 紅	小	低く細柔	薄細	明瞭	細長	柔、多、長	良	薄く柔い	小
凸	大	薄、 黒	大	高、骨太	濃太	不明瞭	太短	硬、小、短	不良	厚く硬い	大

三 義											
				服 装	口 角	眼 付	声	指 先	法 令	頬	(耳) 耳垂
				暖色を好む	緩 い	優 しい	優 しい	兴 る	不明瞭	豊か で緩 い	大
				寒色を好む	締 る	鋭 い	太 い	丸 い	明 瞭	平坦 で締 る	小

女 面 (F)										男 面 (M)									
性 格										首尾一貫性あり									
行動に一貫性なし										客 観 的									
主 観 的										表情に表わさない									
感情を顔に表わす										大 胆 勇 気									
小 心 臆 病										気 分 定 着									
気 分 変 動										独 得 の 見 解									
独自の意見なく共鳴多い										再 起 力 あ り									
失敗災難に再起力なし										怒 り 易 い									
泣、笑、悲しみ易い										持 続 的 な 運 動									
断片的衝動的運動										持 続 的 な 発 想									
断片的衝動的発想										運 動 好 き									
運 動 嫌 い										不 器 用									
器 用																			

適業	下相	中相	上相 (成功型)							
事務、會計 加工業、 小売業、 歌手、文士、詩人	上停女面	中停女面	下停女面	家庭愛深い	寛大	決断力鈍い	自己満足	社交的	貯蓄性	移り気
科学、研究 管理職、 製造販売業 技術者	下停男面	中停男面	上停男面	仕事師で家庭は省みない	厳格	決断力鋭い	自己批判	非社交的	投資性	粘り強い

女面の運命

女面男子は女子と同じく万事に疑い深く、大事を前にしても決断がつかず、邪智深く、機転がきき、小利巧に立廻って、成功すればその功を自慢する。もし失敗すれば、人のせいにして逆恨みする。

日常は目先きの利益にひかれて迷い多く、悲しみには涙もろい感情的性格から、一見親切そうに見えるが、時が経てばすっかり忘れ去ってしまう。恩義などの固苦しいことには心ひかれず、目先きや舌先き三寸の方に心がひかれ易い。ぜいたく好きで大局のことは知らなくとも、目先きの利欲に没頭するから案外小金が出来るもので、しまり屋、小成型、マイカー、マイホームに住み、毎日を小じんまりと楽しく暮せる、二、三年生の代議士や商店、中小企業的主人クラスで、こうした人を古来から福相と呼んでいる。(上相)

たゞし、器が小さいので大貴、大富、大悪にはほど遠く、たまに

高官や富豪の家に生れたとしても吝嗇で、人に施すことなく自分に媚びへつらう者や、自分に似た性格の者を近付ける反面、高潔廉直の士を忌み嫌って遠ざけるから、たとえ一時は悪盛んなれば天に勝つような生活を送っていても、天定まって人に勝つ老境になると破財し貧窮するものである。（下相）

ポーの「ちんば蛙」の王様と大臣を思い出して戴きたい。以上述べてきたのは、上停に女面の入った下相のことで適職は小売業や、加工業が適当で、勤め人や管理職、研究的仕事には不適である。

下停に女面の入った上相は事務、会計、セールスマンなどの内勤でも外交でもこなせる才を持ち、蓄財性、家庭愛、子供運にも恵まれるから福相に相当する。

男面の運命

元來、女子は柔であるべきで、之が剛（男面）に過ぎると刑（夫を尅す）となり、柔に過ぎると淫（淫相）となるといわれている。

このように夫や子供を尅する男面は苦勞艱難によって發生する。

（艱難汝を玉にせず）苦勞を克服してやつと一息つく頃、男面はじわじわ夫や子を浸蝕し始める。中下相なる者は後家相たる所以でもある。一方、上停に男面の入った上相は、政治、經濟に男子に劣らぬ仕事が出来て成功型であるが、中停に入ると早覚えの早忘れで、働きの廻る忙しい仕事に適する。スーパー・マーケットのレジや、ホテルのフロントなどが適しよう。

次いで、下相は筋肉労働者で、晩年孤独となり、老いた足を引きずって物を背にして売り歩き、縁もない所に寄食して乞食にまで落ちてゆく最低型もある。

以上は男面女子にいえることで、男子であると一寸様子が異ってくる。元来、男面はクレッチュメルも粘着氣質に分類しているように、その性格は一旦こうと決めたら、徹頭徹尾、追求して止まない氣質の上に実践遂行の権化であるから、良きにつけ悪しきにつけ大を成す者が多い。

上停良きものは大貴たるべく、下停良きものは大富たるべく、本質童面は大悪人として天下に名を轟かすものである。

男面の実例 次頁写真

Mの部分

広い肩 締りのない胴

広い腰 比較的細くて筋肉質の下肢

五官（眼、鼻、口、耳、眉）の強大

突き出した頭

Fの部分

長い頭髪

乳房



若衆面と妾面

二義												本質
分類	体格	手足	顔、鼻、頭	肩	胸	背、項	髪際	頭、髪	眉	眉間	まつ毛	口唇血色
若衆面	瘦身、長軀	長大	長い	瘦せて怒る	薄くて長い		狭いか低い角額	太く濃く長い	濃く長い			赤
妾面	瘦身、短軀	短小	短い	瘦せた撫肩	薄くて短い	猫背で項細い	富士額	濃く長い（耳が前から見えない）	細く長い	縦皺あり	長い	白

三
義

顔の血色	黒子・しみ そばかす	耳	服 装		性 格					
頬 赤			柄荒く派手で背割れの背広	頭先から足先まで一分のすき もないタンデイ	流行に敏感	附和雷同型	世話好き	吝つたれた事を嫌う	几帳面	記録、蒐集好き
白くすき通る	多 い	大きく柔く前に向う	派手で身嗜み本能的	冷い顔、淋しい後姿	姉でも妹のように見える。 流し目、可愛い声	虚栄心強い	面子第一	癪症病みの潔癖症	機嫌屋で気紛れ	子供や老人を嫌いペットを好む

若衆面の運命

体裁ばかりに氣をとられた、カッコイー兄ちゃん氣質である。氣短かて面倒くさいことは大嫌い、何事も早くて勇ましいことを好むから「仁義の道」に強く、兄（あん）ちゃん氣質で小義に勇である。やくざに、この面の多い理由である。恋愛においても、義に勇み立つ氣質は別れ話よりも情死行へと追いやる心中型（妾面・若衆面）である。

義理人情家は実業に適せず、面倒くさがりは事務會計に適せず、模倣性と技術能力は職人型、芸人肌（歌手・浪曲家）である。スポーツマンとしても最適で、角力、水泳、野球に活躍する者が多く、政治家、軍人にも適する。しかし一般には、孤独相で財、妻、子女縁の良くないものが多い。

妾面の運命

妬み、そねみ、邪智深いのは女子の持前であるが妾面はその最たるもので、誠意なく、卑しくて、捨鉢で愚痴多く、ひがみっぽい。そして媚と気紛れな熱情で男性を破滅させる。また彼女達には、ゼいたくと光栄がとりまいていなければならぬ。貧相で再縁の相で、正妻になっても永續きしない。その理由は、妾は元来利によって主人と結ばれているから一旦主人が落ち目になると、弊履の如く捨て去るものである。中年頃になると、主人から金品をもらって他に嫁ぐことが妾の常で、再縁の相たる所以である。この頃から、運は下り坂に向う。

適職は女優、歌手、バレリーナ、弦歌などの芸術の演技、演奏者で妾面の可塑性と興奮性がこの道の成功者を作る。

若衆面の実例

乳房が小さい。脂肪も少い。
締りのない胸。

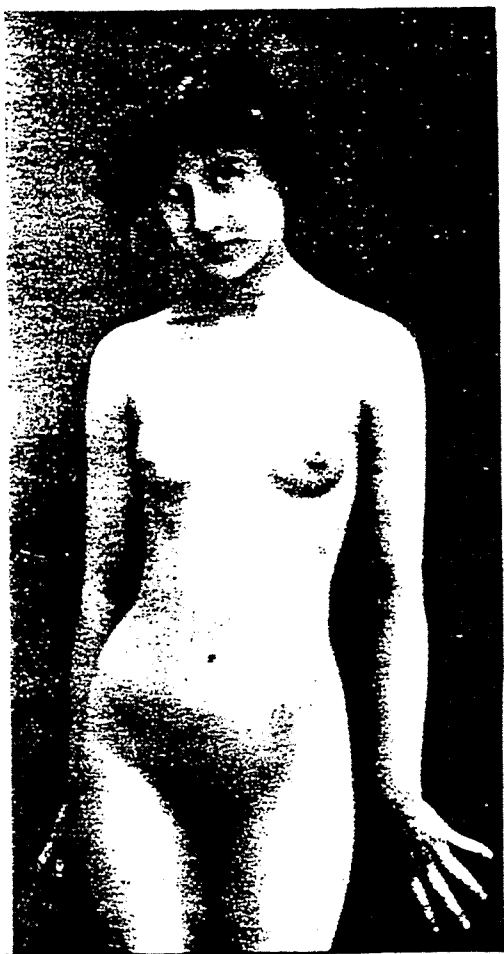
縦（身長）に比べて横（筋骨、脂肪）の発育が悪い。
痩せた怒り肩。薄くて長い胸。



妾

面 の 実 例

瘦身。
肩 瘦 せ る。
富士 額。
眉 細 長 い。
顔、頤 短 かい。
胸 薄 くて 短 かい。
頭 髪 濃 くて 長 い。
皮 膚 白 くて 薄 い。



遊女面

— 79 —

三 義		眼光穏やかなれど威あり	人前で気おくれしない
		風雅な感じ	内心を口に出さない
	学者肌		師匠（頭良く手先器用）
	財に淡泊		
	異性と雲雨気楽しむ		女面男子好む

遊女面と陰者面の運命

遊女面は婦人凶相のひとつであるが、老面が加味されているので妾面より遙かによろしい。淫相であるから芸者、街娼などにこの面のもものが多いが、手先の器用さに加えて頭のみこみも早いから、芸事はすべてに通じて居り茶、花、歌、俳諧、詩などの創作者や師匠になる者も多い。

陰者面も遊女面と似ており、医者、学者、画家、作家、僧侶、教師などの仕事に携わる者を陰者と呼んだのでこの名があるが、一般

には学者貧乏で財運はなく晩年孤独な者が多い。

しかし、女面が入ると研究、特許、発明で儲けるようになると同時に、財運、妻、子孫運も改善される。陰者は上停にあるのを上相といい、腕利きの頭脳明晰な学者、芸術、実業家で、中停に入ると表面おとなしくとも陰で反抗する猫かぶり、下停に入ると無気力体質で短命である。

遊女面の実例

骨格細く肥満。

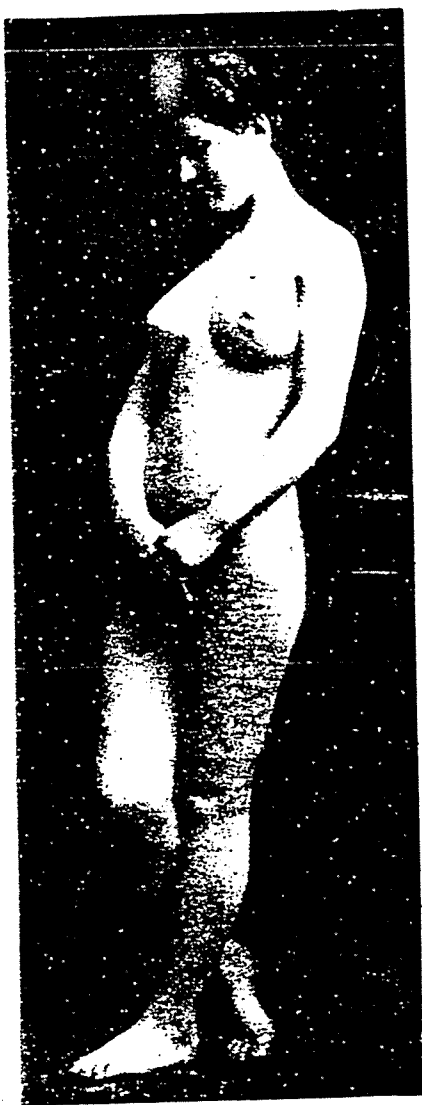
背すじ曲る。

頭前へ凸出。

上睨広し。

豊頬。

胸厚。



第六章 八面の命名のしかた

本質とは、一度成熟してしまえば殆んど変化しない骨格を以て決定する。

二義とは、年令や環境によって徐々に変化する毛髪、皮膚、血色、肉付で決定する。

三義とは、時々刻々変化する服装、声、眼付、挙動で決定する。

本質、二義、三義共に童なら、童面とする。

本質 童面、二義、三義男なら、CMとする。

本質 二義 童、三義男なら、CMとする。

以上のように正確に命名するには本質、二義、三義の順に命名する。

但し男子の男面や女子の女面は、老人の老面や子供の童面と同じく、当然のことで異相とするに足りないから省略する場合がある。

また二義だけ、三義だけで命名する場合は多い面より順に命名する。

次に面のどれかが不明なとき他の面から不明な部分を割り出し方について述べよう。

例えば写真なら本質、二義は分つても三義が不明であり、電話の声から面を割り出すには本質、三義が分つていて、二義が不明なときの割出し方である。

それは本質と二義の中間に三義が来るということを覚えておくとうい。

例えば本質Cで二義Oなら、この中間はMかFだから男子ならMとし女子ならFとする。次に本質Cで二義Mなら、この中間は若になるから三義は若になる。同様にして本質Fに二義Oなら三義は遊となる。

以下面の練習用として単純面と混合面の写真と解説をつけて掲載した。

O C (老面に部分的童面)

上停の額が顔全体を支配するため、彼の書いた戯曲はドイツ文学史上特異なものとなっているが、現実的でないので舞台条件を無視したものが多く、上演に適しない。



グラツベ
(1801-1836)
Dietrich Christian
Grabbe

M (男面)



アレキサンダー大王
Alexander der Grosse
356 - 323 V.Chr

ドイツ劇作家。俳優、演出家を志したが失敗し、弁護士から陸軍法務官になった。不幸な結婚と飲酒癖のため窮乏のうちに早世した。

M (男面)

五官（眉、眼、鼻、口、耳）と六府（上停、中停、下停）の整った顔で、この全体を中停が支配して、その最高峯に鼻が臨んでいる。中停に続いて上停も良いから大貴の相である。気の露わる顔と気の収蔵した顔が、武人と文人の差を表わす。



シーザー

Caesar 100 - 44 V.Chr

陰 男 面

上停（額）型の顔であるが、中停にそのエネルギーが流れ込んでいる。つまり理論を実践する顔である。

音楽の父と呼ばれるドイツの大音楽家



バ ッ ハ

Johann Sebastian Bach
(1685 - 1750)

陰男面

古代以来の天動説に対して地動説をうち立てたポーランド出身の
大天文学者



コペルニクス
Nikolaus Kopevnikus
(1473 - 1543)

O又はCO

過敏であると共に鈍麻O又はOC
「私は氷の様に堅く、しかも過敏なまでに感じ易い」



ストリントベルヒ
Strindberg
(スエーデンの作家)

過敏で繊細な感覚が鈍麻した分裂病
(OF)

OF



ヘルダーリン
Holderlin
(ドイツの詩人)

C (童面)

CでもOでも、MとかFが加味されて始めて実際の、現実的手腕を発揮するが、Oのみが顔全体を占拠したり、Cのみが顔全面に支配の手を拡げると、実現出来ない空想的な作品となり、大衆に受け入れられないから悲劇の天才となる。



クライスト
Heinrich von Kleist
(1777 - 1811)

C M

ドイツの劇作家、小説家。いくつかの強烈な作品を書き、また新聞を発売していた。のち人生に絶望し、人妻ヘンリエッテ・フォーゲルと共にポツダム近郊のヴァン湖畔でピストル自殺を遂げた。



ロベスピエール

ロベスピエール
Robespierre
(1758 - 1794)

フランスの政治家。酷烈なる冷酷性と過敏な感情が同居し、英雄悲壮性と牧歌的恍惚。最高の理想主義と最悪の残忍性、狂信的執拗性と突然の狐疑逡巡が同一人格に相接している。

M F



ミラボー

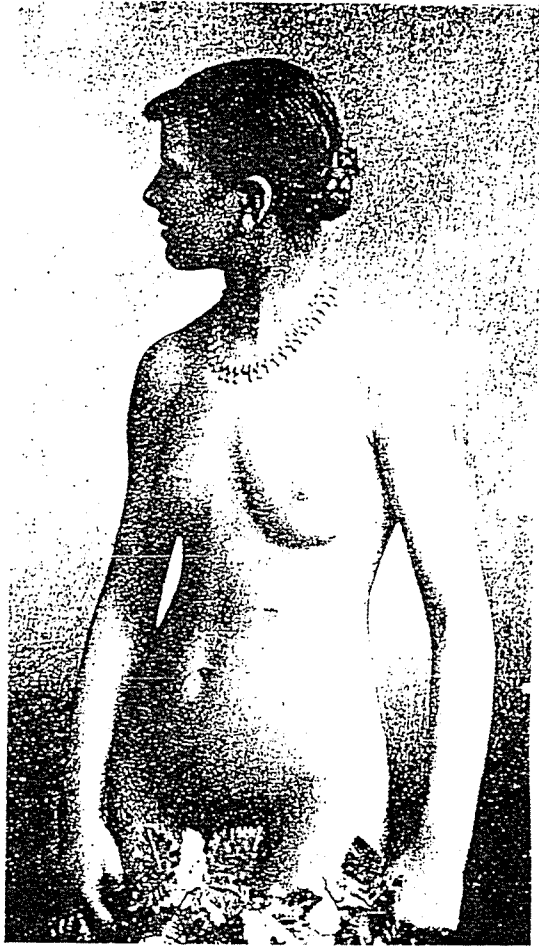
ミラボー
Mirabeau
(1849 - 1891)

フランス革命期の政治家。
勇敢な冒険者の活力（M）と同時に調停的な政治手腕（F）を持
っていた。

天才的指導者。

結核体質①

結核体質の特徴は、痩せぎすの、往々かなり丈の高い体格、弱々しい筋肉組織、薄い脂肪床、往々頬の紅潮した蒼白な、ひどく薄い透きとおった皮膚、痩せて長い頸、狭くて長い胸部、細くて痩せた右手を持っている。(若妾面)



結核体質②



左の①②はどちらも痩せた頭、骨張ってがっくりと落ち込んだ肩平たくて薄い胸部、痩せた腕では伸び盛りの伸長期か、病的かはつきりしないが、若くて出来上ったばかりの乳房が弛み、贅が出来、垂れ下りかけているのを見ると、病的素質を明らかに読み取れる。また①の写真では頭型が長頭型であることも結核体質の特徴のひとつになる。

(頭型の八種類 参照)

クル病①



この写真はクル病の治った痕跡のはっきり見える少女である。膝足関節、肘にクル病の肥厚がはっきり見え、鎖骨も肥厚している。これは腕を上げたとき、左側に特にはっきりしている。

この身体全体が、若々しく充実しているにもかゝらず、この骨格に痕跡が残っていて鈍重で寸詰りに見える。(FC)

(蛙腹) クル病②

図はクル病に骨盤が冒されたことのある少女である。骨盤が広いが前方から後方へ行くにしたがつて平べったくなっているために、下腹部は広く見え、蛙の腹の様に出っ張って、すこし垂れている。そしてこの病変は顔にも表れている。顔の中で骨盤に相当する所は人中であるが、この人中は短過る。

(人中童面)

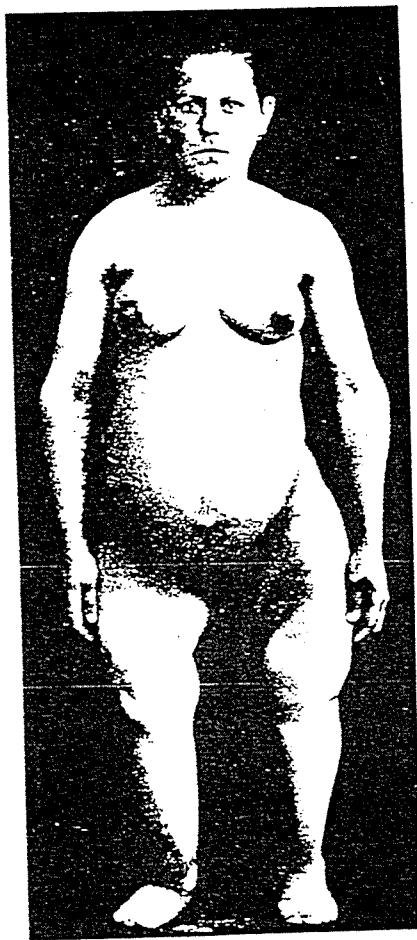


腺病質

腫れぼったい顔 太い鼻（慢性鼻炎）
上唇の突出 頸部リンパ腺腫脹
蒼白く鉛色の皮膚 細い手足
炎症をおこしている腺（童面C）



強度のクル病③



クル病体質（C）

クル病の原因は、太陽と栄養不足とされている。
この病の後遺症は、

手関節が尺骨頭で太くなる。

前腕が上腕に対して彎曲する。

下腿が大腿に対して彎曲する。

背柱と胸郭が彎曲する。

骨盤が変化して浅く狭くなる。その結果腹が垂れ下る。

膝関節が肥厚する（O、サーベル、X脚、扁平足）

この強度のクル病患者の写真と子供の図を比べて見るとよい。

頭が体に比して大きい。

腹が丸く垂れ下る。（童面腹。出臍）

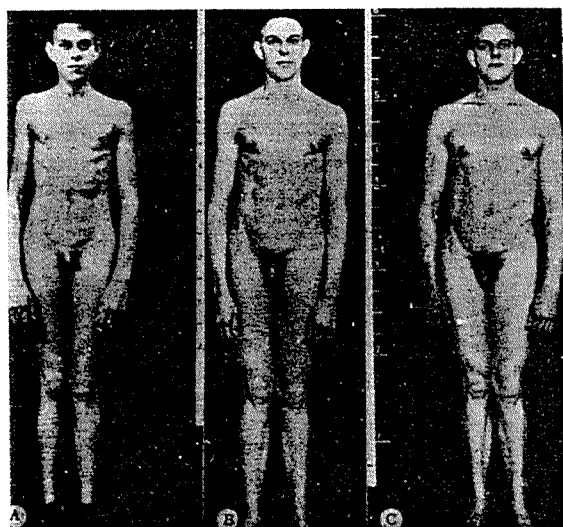
骨盤は腹より小さい。

首が短かく細い。胸骨が高い。

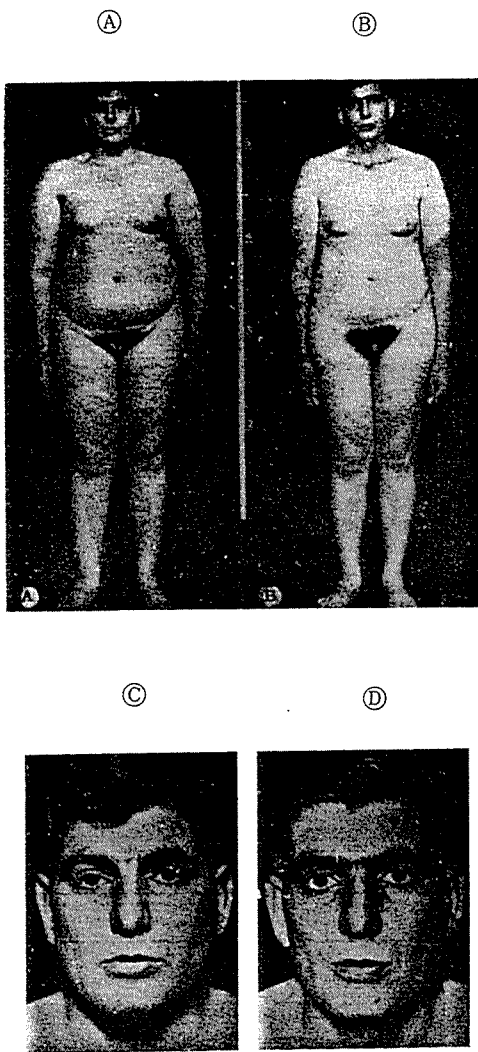
関節の肥厚。腕は長く足は短い。

10年の投薬効果

① → ② → ③



二三才の類宦官症患者にホルモン剤を十年間投与後の比較写真
顔の変化は丸くて小さかった顎が角張って大きくなり前方へ張り
出して来るに従って、大腿部や腰部、筋骨発達の顕著さが分る。
眉が濃く長くなるに従って腕の筋肉の発達ぶりや、鼻が太くがっ
しりして来るのと軀幹部の発育が相応している。(童面↓男面)



類宦官症の三十一歳の男子 (CF↓M)

両側性女性化乳房、頭髮の生え際と陰毛は女性型、顔にひげが無く、腕と脚にも比較的毛が少い。陰茎は小、声は高い。

Ⓐ、Ⓒは治療前 Ⓑ、Ⓓは治療後

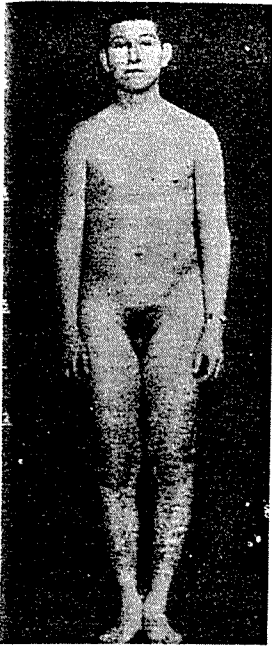
また額の生え際が男性型に近づくにつれて陰毛も男性化傾向を見せている。

黒目勝ちのCFの目が、白目勝ちのM化すると共に眉も多く濃くなって来る。頬の柔かさが消えて筋肉質に締って来ている。

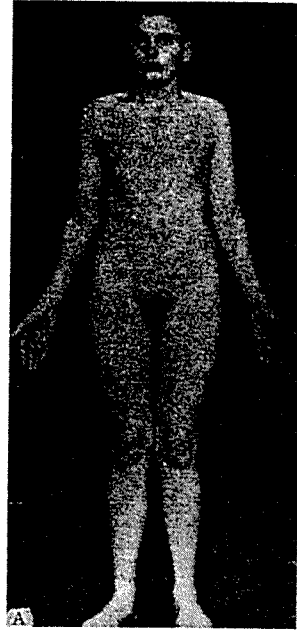
性機能不全症

これは二十七歳の男子で、体毛は少なく陰毛は半分以下でC若の程度の生え方である。声は癩高い。

顔をよく見ると、先づ成熟していない。眉は細長く(C)眼は比較的黒目勝ち(C)で、鼻はやゝ上向き(C)で、鼻翼の張りがない。(C)



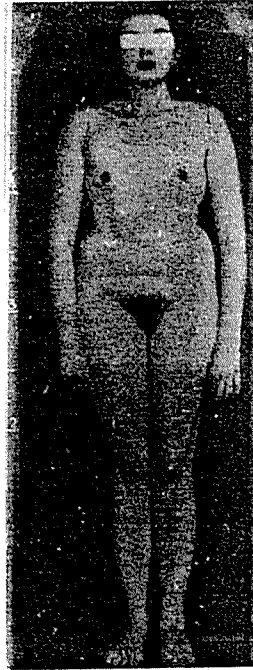
耳は大きくて軟かくて前に向う。(C) 口唇は薄くて口角は下る。
(C) 額の生え際は(若)で充分男性化していない。



右の写真も同様で、体毛は少く陰毛は更に少く $\frac{1}{3}$ にも達していない。

顔の發育も更に子供っぽくて、足と腕が外側に曲る乳幼児期の特徴を残している。

次頁写真は二十六歳の女子で、性機能不全症である。長過ぎる上肢と下肢が目につく。



乳房に膨みがなく、顔も成熟していない。鼻翼の張りのない上向きの鼻（C）に前から見える鼻孔（C）がよく目につく。口は口角の下ったへの字型で（C）上唇は外側に反る。（C）

引用文献

Die Schönheit des Weiblichen Körper von
C. H. Stratz
Selye Textbook of Endocrinology Acta
Endocrinologica Inc. 1947

第七章 八面と自律神経

自律神経には交感神経と副交感神経があつて、交感神経の刺激は消化管への活動は停止され、腹部の諸器官から血液が去り、必要なエネルギーが筋肉の激動する器官のほうに移行する。そして心臓の収縮が強くなる。脾臓からは余分な血球が排出される。呼吸は深くなり、肺へ続く呼吸管は拡大され、筋肉疲労は速かに解消され、循環系統内の糖分が準備される。これは戦闘とか逃走などの緊急事態に直面した生体の、応急の態勢と云えるものである。

一口にいえば、身体活動が亢進し、エネルギー消費の高まるときは、つねに交感神経活動が増加するわけである。つまり交感神経は異化に関係するもので、副交感神経が同化に関係するものと対照的である。一方、消化時のようにエネルギーを蓄積するとか、安静或いは睡眠時のようにエネルギーを保存するという時に、副交感神経

効果部位		アドレナリン作動性薬剤		コリン作動性薬剤	症 状
		受容器の種類	反 応	反 応	
心	虹彩散大筋	α	収縮(筋度)++	収縮(筋度)+++	<ul style="list-style-type: none"> ・緑内障 虹彩炎 角膜炎○ ・狭心症 心臓不整脈
	虹彩括約筋	β	弛緩(筋度)	収縮+++	
	毛様体	β	心拍数増加++	心拍数減少; 心臓停止+++	
	心房結節	β	心収縮力, 伝導速度増大++	心収縮力減少; 伝導速度増大++	
	心室結節, 伝導系	β	伝導速度増大++	伝導速度低下; 房室ブロック+++	
血 管	心 室	β	収縮力, 伝導速度, 自動性, 持続性ベーターブロッカー発現増加+++	収縮力減少	<ul style="list-style-type: none"> ・高血圧 喘 息○ 鎮痛剤○ 消化性潰瘍○ ・便秘
	冠 状 皮 膚・粘 膜	α, β	収縮+; 拡張+++	拡張±	
	骨 格 筋	α	収縮+++	拡張	
	腎 臓	α, β	収縮+++; 拡張++	拡張+	
	腸 道 内 臓	α, β	収縮(筋度)	拡張	
胃 腸	支 氣 管	α, β	収縮+; 拡張+	拡張	<ul style="list-style-type: none"> ・尿 閉 夜尿症○ ・催経薬
	支 氣 管 支 管	α, β	収縮+++; 拡張+	—	
	支 氣 管 支 管	β	弛緩+	拡張+	
	運動性, 緊張	β	抑制(?)	興奮+++	
	括 約 筋	β	減少(通常)+	増大+++	
胆 道	括 約 筋	α	収縮(通常)+	弛緩(通常)+	<ul style="list-style-type: none"> ・尿 閉 夜尿症○ ・催経薬
	分 泌	α	抑制(?)	促進+++	
	運動性, 緊張	α, β	減少+	増大+++	
	括 約 筋	α	収縮(通常)+	弛緩(通常)+	
	分 泌	α	抑制(?)	促進++	
汗 腺	汗 腺	α, β	収縮+; 弛緩+	収縮++	<ul style="list-style-type: none"> ・鼻 炎 鼻出血○
	排 尿 筋	β	弛緩(通常)+	収縮+++	
	三角部, 括約筋	α	収縮++	弛緩++	
	尿管(運動性, 緊張)	α	増大(通常)	増大(?)	
	子 宮	α, β	不定	不定	
皮膚	立 毛 筋	α	射撃+++	勃起+++	<ul style="list-style-type: none"> ・鼻 炎 鼻出血○
	汗 腺	α	収縮++	—	
	汗 腺	α	分泌(部分的, 筋度)+	分泌(全身の)+++	
	汗 腺	α	収縮+++	—	
	汗 腺	α	—	アドレナリン, ノルアドレナリン分泌	
肝 胆	肝 胆	α	解離	—	<ul style="list-style-type: none"> ・鼻 炎 鼻出血○
	肝 胆	α	—	分泌++	
	肝 胆	α	分泌++	分泌++	
	肝 胆	α	分泌++	分泌++	
	肝 胆	α	分泌++	分泌++	

●重面病治療剤 アドレナリン α/β 遮断剤 抗コリンエステラーゼ剤
 抗アドレナリン剤 コリンエステレル剤

○老面病治療剤 副交感神経遮断剤 交感神経作用アミン

活性は増大するものである。

交感神経と副交感神経の働きは、一方が優勢になると他方が抑制されるように抵抗的であるが、臓器によっては両者が全く異った独立の働らきをすることもあり、また協力的に働らくこともある。

種々の内臓臓器、効果細胞などへの交感神経、副交感神経を刺激したさい、どのような変化が表われるかをまとめたものが前頁の表である。

童面（C）は、交感神経緊張体質であるから、アドレナリン作動性衝撃による反応を起し易く、その疾病なり症状にはアドレナリンの α 、 β レセプター遮断剤、抗アドレナリン剤、逆にコリン作動性衝撃を与えるコリンエステル類、抗コリンエステラーゼ剤を与えるようにする。一方、老面（O）は副交感神経緊張型であるから、コリン作動性衝撃による反応を起しやすく、その病気には副交感神経遮断剤や交感神経作動性アミンを与えることにより、治病のみならず体質まで変えることが出来る。

治療法の実際は、表の右端にあるように縮瞳の目的にアトロピンが用いられる。

○急性虹彩炎、角膜炎、また α レセプターが散瞳を起すから、 α β に作用するアドレナリンも散瞳薬である。

○緑内障はこの逆であるから、コリンエステルのピロカルピンや抗コリンエステラーゼ剤のネオスチグミンが用いられる。

○心臓不整脈は β レセプターの心拍数増加も減少させる為に β 遮断のプロプラノール。

○狭心症も心収縮力減少の目的で β 遮断のプロプラノールが使用される。

○鼻出血や鼻炎には、 α レセプターが粘膜の血管を収縮させるから、 α 、 β レセプターに働らくアドレナリン、エフェドリン、 α レセプターに働くアンフェタミンが使用される。

○喘息は気管支筋を弛緩して(β)気管支粘膜の血管をも収縮する(α)ものが良いわけで、 β のみに働らくプロテレノール、 α 、

β に働らくエフェドリンがある。

○高血圧は皮膚、骨格筋、脳、肺などの血管を拡張するのは抗アドレナリン剤のレセルピンである。

○消化性潰瘍は胃液の分泌を抑制する目的でアトロピンが使用される。

○鎮痛剤は胃、胆、尿管、子宮に広く運動性緊張を除く副交感神経遮断剤のヒヨスチン、ブチルブロマイドがある。

便秘症には弛緩性の便秘と痙攣性の便秘に分けられるが、弛緩性の腹満便秘や尿閉にベタネコール等のコリンエステルやネオスチグミンの抗コリンエステラーゼ剤がある。

痙攣性には鎮痛剤のアトロピンが使用される。

○小児の夜尿症や、成人の神経膀胱調節障害に尿道括約筋の緊張を増大する(α)エフェドリンが使用される。

八面の智力

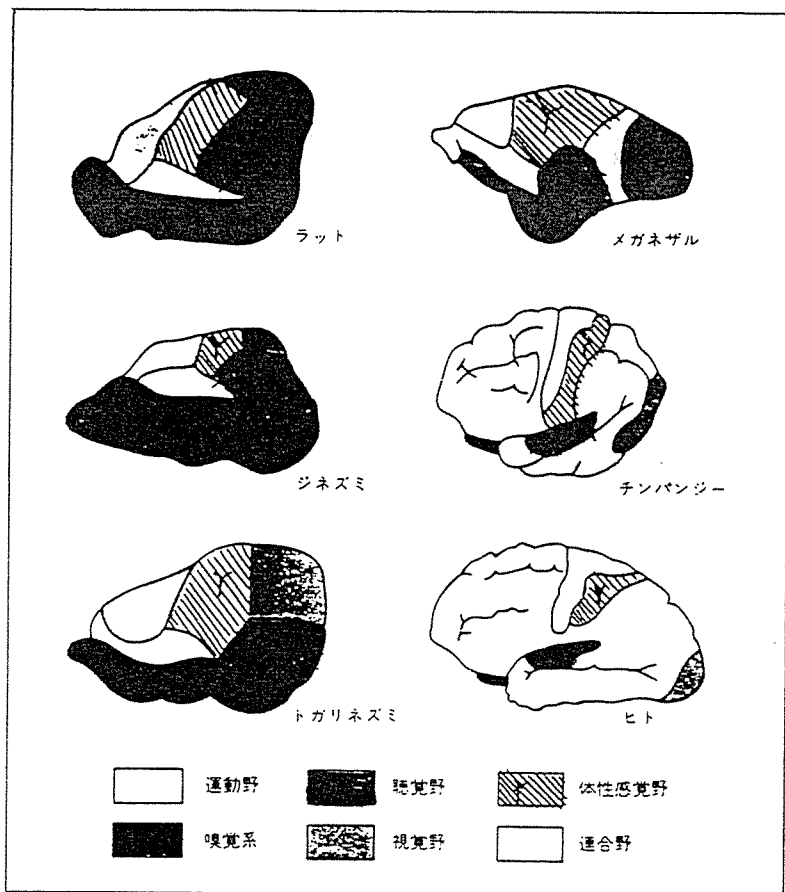
頭型の顔（童面智力）

口と顎と頬骨が発達すると鼻は発達することが出来ない。頭型の顔になる。この顔は童面のものである。

動物の脳は認識する脳で占められている。（新皮質の分業の図参照。黒、濃い灰色、斜線などの色の濃い皮質は全部認識する脳である）

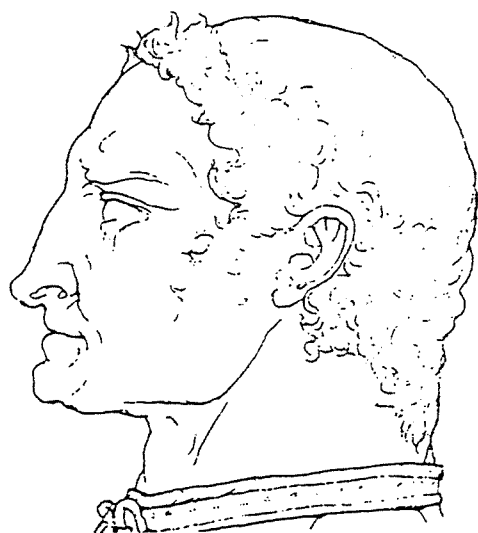


頭型の顔



新皮質の分業 図、動物と人間の新皮質の分業の体制を示す。新皮質系は、そこに宿る分業体制の精神によって、ヒトや動物を「うまく」そして「よく」生かしている。上の図は、いろいろな動物とヒトにおける、新皮質系の統合の座の新皮質と、辺縁系の統合の座の辺縁皮質と、それに関係の深い嗅球とを比較したものである。下等な動物ほど辺縁皮質の発達かのだら、高等な動物になるほど連合野が発達している。

鼻型の顔（男女面の智力）



鼻型の顔



額型の顔

認識する脳とは沢山の知覚を持つことであり、沢山の知覚は知覚連合野に送っても情報処理出来ない。（図の連合野が白い部分で、動物はこの白い連合野が少い……新皮質の分業図）そこで個々の知覚は断片的で絞切り型、刺戟拘束的に進み、旧習墨守であるから迷信的、奇蹟信者ともなる。

鼻がよく発達すると顎や口の發育は停止する。顔は鼻型になる。

知覺を根氣よく忍耐して知覺連合野に送り記憶することを反覆して學習が形成される。この様にして蓄積された記銘に情報処理されたものは運動連合野に送られ運動發現となる。

さて、この學習に成熟過程で行われる初期學習と成熟後行われる後期學習があるが、前者は試行錯誤や条件反射による機械的反復によつて形成されるので仲々消えないが、後期學習は言葉や概念を利用する大人の學習で、形成も早いが消失も早い。しかも社会的に確率の大きいもの以外に興味を示さない。

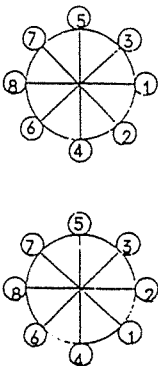
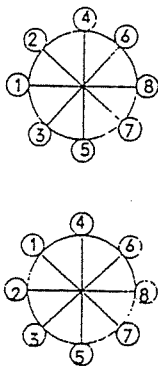
所謂、常識の発達である。

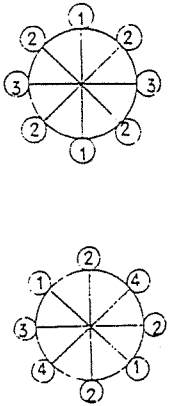
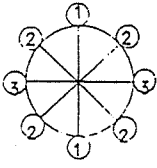
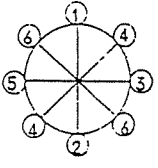
額型の顔（老面の智力）

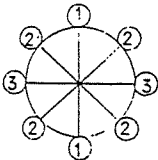
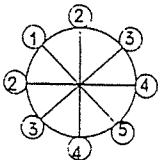
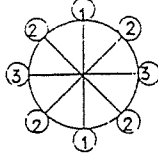
童面智力の沢山の知覺、男女面智力の情報処理されたものを、どういふ運動で發現すると最も効果的か、あらゆる例外を残さずに出るか、誰にも理解出来るか、と運動發現の為の運動連合野（体性感覺野に接する白い部分が知覺連合野で、薄い灰色の運動野に接す

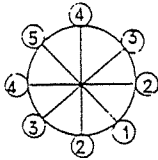
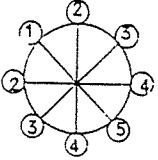
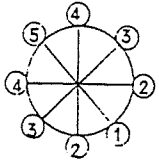
る白い部分を運動連合野という。……新皮質の分業図参照）の最も発達した為に、額まで広く高くなったのが老面の顔であるから、この様に情報が募集され、順序よく配列され、比較されて始めて総合推理、創造が可能になる。

第八章 八面の才能特性

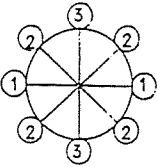
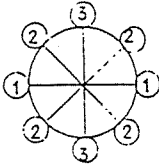
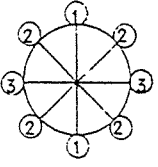
智 力			
能 力	③記 憶 力	②直 観 力	①抽象、 推理、 連想
	直観力と同じ	 <p>但し見掛上は耐忍的行為により、記憶の蓄積を要する故 下図のようになる</p>	 <p>但し見掛上は意力を要する故 下図の如うになる</p>
主として見合 せるべき点		天停中央、 頭髮、眼元 口締り	仙骨、 頭髮 眉毛

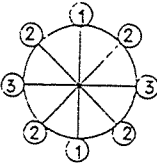
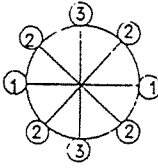
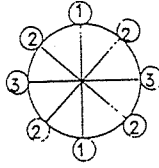
意	志	
<p>⑥行動速度 —— 軽快 —— ユツクリ</p>	<p>⑤感受性 —— 爽快 —— 悲哀</p>	<p>④觀察方式 —— 広シ —— 浅ク</p>
<p>但し、見掛上意力を要する故下図のようにならる。超飛的執拗は左上図の逆となる。</p> 	 <p>過敏、鈍麻は 上の逆となる</p>	 <p>深く狭しは 上と逆になる</p>
<p>中停、時に 皮膚、眼 口、観骨</p>	<p>全身全面、 特に皮膚、 血色、毛髪</p>	<p>全身全面</p>

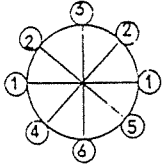
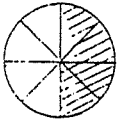
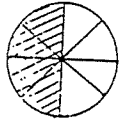
意 志		
<p>⑨意 —— 意力的 —— 頑 固 的 志</p>	<p>⑧意 —— 理論的 —— 頑 固 的 志</p>	<p>⑦主觀方式 —— 實驗的 —— ——</p>
		 <p>形式的、推理的は 上の逆となる。</p>
<p>中 停、 金 甲、 眼 光、 海 角</p>	<p>上 停</p>	<p>上、下 停 次に 中 停</p>

情 緒				
⑭氣 (内外陽) 分	⑬氣 (外陽内陰) 分	⑫氣 (外陰内陽) 分	⑪氣 (内外共に陰) 分	⑩意 [感情的 頑固] 志
<p>α、βに陰あり。θにFC又はあり。</p>			<p>α、βにあり。θに陰あり。</p>	
全	全	全	血色、毛髪、次に全面	下停 金甲、海角、眼光

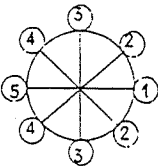
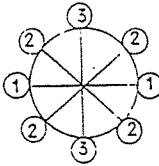
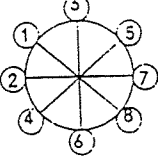
犯 罪 趨 向 (M含む……実行)										生理的特徴		
⑲ 不感症的傾向	⑳ 子宮欠陥多し	㉑ 出産難易	㉒ 小盗傾向	㉓ 心中傾向	㉔ 月経時犯罪傾向	㉕ 過激思想的傾向	㉖ 詐欺的傾向	㉗ 自、他殺傾向	㉘ 點兇殺し傾向	㉙ 姦通傾向	㉚ 毒殺傾向	㉛ 放火傾向
O又はCに近づく程多し。	Fより離れる程大なり。	Fに稍々Mあるもの 次はF(易しの方)	CF、FCのもの。	θに若妻あるとき(男女共)	姦、遊、次にC又は部分的Cあるとき。	(女子) 姦男、男女、姦女、遊の順 (男子) 童若、童陰、若	遊、陰→若妻又は部分的に是等を強く含むもの	三義的M又はCMを含めるもの。	女面栄養に本質的童、即ち童男を含めるもの。	遊、姦、童皆然り、他は同左	遊、或はOF→姦の順、或は是等を部分的に強く、ふくみたるとき。	姦或はCF→CCF或はCCM→若の順 或は是等を部分的に強く含む時。
全面的Cへの接近又は部分的Cの強きもの	全面	全面特に人中	全面	全面	全面	全面	全面	全面のθ	全面	全面	全面	全面

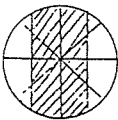
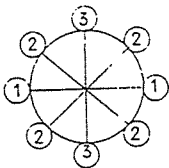
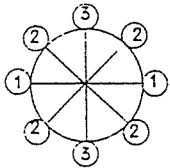
<p>③① 趣味に 生じる傾向</p>	<p>③② 芸 術</p>	<p>②⑨ 技術能力</p>	<p>②⑧ 道 徳性</p>
		<p>Mに若、又は陰或は両方を含むもの。</p>	

<p>③④ 生殖力</p>	<p>③③ 性倒錯度</p>	<p>③② 実用主義</p>
	 <p>異性の雰囲気や、 エロ気分 をたのしむ度合。 性交回数に非ず。</p>	

<p>③⑧ 発 明 (極めて大 きなもの)</p>	<p>③⑦ 非 優</p>	<p>③⑥ 又 は、実 験 的 文 学 的 能 力 統 計 的 研 究 能 力</p>	<p>③⑤ 又 は、綜 合 哲 学 的 文 学 数 学 的 科 学 的</p>
	<p>女子はMを含み、男子はFを含むこと、半々位が吉なり。 但し、陰避老を含むは好ましからず若 童を好む</p>	 <p>童 の 側</p>	 <p>老 の 側</p>

<p>④③ 機智に富む</p>	<p>④② 実業家好適</p>	<p>④① 音楽、 舞踊歌手</p>	<p>④① 色彩模様 の好悪</p>	<p>③⑨ 流行に関心 深き度合</p>
<div data-bbox="244 561 405 730" data-label="Diagram"> </div> <p data-bbox="367 785 394 954">天停、Cを見る。</p>	<div data-bbox="506 577 669 746" data-label="Diagram"> </div>	<p data-bbox="730 529 770 1024">Cに近づくか、妾に近づきて男を含む程宜ろし。</p>	<p data-bbox="819 529 882 922">Cに近づく程、模様荒く色彩派手。 Oに近づく程、模様細かく色彩地味。</p>	<p data-bbox="938 539 965 746">Cに近づく程大なり</p>

<p>④⑦ 迷 信 的</p>	<p>④⑥ 好 奇 心 強 し</p>	<p>④⑤ 哲 学、 数 学</p>	<p>④④ 浪 曲 家</p>
			<p>MFの体格あつて、 之に本質二義三義の若を十分含むもの</p>

<p>⑤⑩ 幸運なるもの</p>	<p>④⑨ 精 神 病</p>	<p>④⑧ 天才的狂人的</p>
 <p>中心部の人々</p>	 <p>又は、部分的にOCを含むも、同じ 之にもα、β、θの別あり。</p>	

八面体質論の中でも八面の才能特性は、原著の観面秘録の白眉であり、且つ難解を極めたる部分であるので、原著から全文を引用しこの解説に当っては原著の専門的に過ぎる語句は削って私流に意識し、能力順位でも不用に思われるものは順位を変えたので、理解出来ない個所があれば、本文の解説と原著者の解説（巻末）を参照して戴きたい。

①抽象、連想推理能力は、高度に情報処理されたもの（M）の運動発現（O）であるから、OにMの入った①位にくる。

②直観力とは、例えば車の雑沓する十字路を踏み切るとき判断で、言語思考的熟慮よりも本能的条件反射（C）の性質が強いものである。しかも鋭敏な感覚（F）の附与された妾が①位にくる。

③記憶力とは、個々の知覚の再生であるから直観力と同じに配当される。

④観察方式とは、広く浅く物を見るか、或いは細かく深くキリのように物を見るかの差であって、浅く広く見る人は常識人のMF

が①位にくる。狭く細かく物を見る人はこの逆になる。

⑤感受性とは、ある刺激に対する反応の大小であって、一度の刺激に全然反応しない人は、繰返した同じ刺激には過敏に反応するのに対して、他方は、一度の刺激に適度に反応し、二度目の刺激にも同程度の反応を繰り返す。例えば、電車で足を踏まれた時じっと耐えている人は、同じ人から二度踏まれると爆発する。但し、他方「痛い」と声を出す人は二度目でも同程度に痛がる。

⑥行動速度とは、刺激から反応するまでの時間の長短で、すぐに反応するのがCで、全然反応しないか反応する迄が長過ぎる（狸寝入り）のがOで、適度の時間に反応するのがM、Fである。

⑦主観方式とは、価値判断の基準になるものの相違で、花より団子式に実利実用に価値を認めるものと、形式、論理、伝統などを重んずるものの差で、前者がMF、後者がCOである。

⑧、⑨、⑩は頑固さの相違を表わしたもので、⑧は平常は意志の弱い人でも話の筋道の通らないものには断乎として反対を称える学

者型の人間である。(O)

⑨は普段から意志の強いと云われる人のことで、他人の言い分を聞かない自己主張者である。(MF)

⑩は平常はおとなしい意志の弱い人でも一度感情に触れると理非曲直は無頓着に我を通すヒステリー性格者である。(C)

⑪普段から引込思案で、悲観的、臆病なものを内外ともに陰となし、その逆に平常から快活、陽気、楽観的なものを⑭の内外の陽とする。

⑫と⑬は、内向性性格と外向性性格者のことで、⑫は内向性の人で自分の内部、すなわち身体や精神に興味を持ち、主観的で孤独を愛する。他の世界から自分を守ろうとして、自分の考えをすぐ口に出すことがない。他人のことには無関心、無干渉で、他人がいると仕事がうまく出来ない。あまり自信がなく、仕事を引き受ける前に責任を考える傾きがある。

⑬の外向性の人、社交的で開放的で、自分の殻に閉じこもるこ

とが無く、身を守ろうともしない。すぐ自分の意見を発表する。また他人も自分と一諸に行動させようとし、他人がいる方が仕事の能率が上る傾きがある。

⑮↓⑳は、犯罪者に多い面の傾向であって強盗、殺人、傷害などの暴力犯は男面が主役を演ずるのに対して、墮胎、遺棄、嬰兒殺しなどは赤ちゃんに敏感な女面が主役を演ずる傾向がある。また教唆や隠匿というような自分が直接手を下さない犯罪も女面が多い傾向にある。

㉕出産難易は、Mに入る程、子宮収縮力が強くなり難に近づく、Fに入る程易に近づく。

㉖子宮欠陥發育不全、奇型、前後屈などの欠陥はFより離れるほど大となる。

㉗Fが最も敏感であるから、此処から左右に遠ざかるに従い週期的不感症となり、左右の極が不感の極となる。

㉘道徳性、法規を守る常識と意志力の大きいM、Fが道徳性高く

○に近づくと、わかつちやいるけど止められない有意識不道德者であり、捨ったものを持っていると罪になるとは知らなかったという無意識不道德者がCに近づく。

②9 技術能力とは直観的で実際の、現実的な能力を必要とする。多くの発明家はまた良き技術者である。実際的能力のMに直観のCは職人などに多い手先の技術者で、創造の○の入ったものは、製作設計などの頭脳の技術者となる。

③0 芸術は創作者と発表者に分れる。この創作能力（作詩、作曲、図案、脚本）は、○に近づき、之を演ずる者（歌手、舞踊、ピアノスト）は、Cに近づく。

③1 ③2の逆が③1である。

③2 は花より団子式。

③3 は欲求不満の順序を云ったものである。このことは言葉を換えると変態性欲の度と一致する。

③4 生殖力とは多産系か寡産系かのことで、MFの真中はホルモン、

バランスがとれているから多産系となり、○に近付くと黄体ホルモン過多で排卵を抑制するから寡産となり、○に近づくとき黄体ホルモン不足で排卵は可能でも育ちが悪くなり寡産となる。

③⑤は老面系、の学問で総合的、抽象的であるから、記載的学科よりも説明的学科を好み、数学、哲学、宇宙、時間、空間、電子、元素などが興味を中心になる。

③⑥は童面系学問で、分析的、記載的であるから、説明的学科よりも記載的学科を好む。系統植物学、解剖学、組織学、分析化学、鉱物学、結晶学また感覚的であることから文学語学も得意な学科で伝奇家、小説家、抒情詩人なども之に属する。

このように、童面学者と老面学者は相補足し合うもので、童面は科学上の土木技師で、事実を蒐集し、排列し、比較し、そうして老面の説明的研究に対する道を準備する。老面はこれから抽象して、一般的な関係を見出し法則として表わす。

③⑦俳優は他人の性格を如実に模倣するものだから、可塑性（妾）

が必要になる。更に感動性のFを加え、之に技術的能力のMを与える
るとMF又はFMが俳優の能力となる。

③⑧ これは技術的能力と一致する。

③⑨ 流行に関心の深いものは、外界からの被暗示性の強いものであるから、Cに近づく程大となる。

④④ 色彩模様的好悪は、子供はブルーのサングラスをかけている様に見えるから、晴天でも暗く、派手な色彩や模様でないとピンとこない。(C)

一方、老人は褐色のサングラスをかけている様に見えるから、曇天でも晴天のように見えるから、地味な細かい模様を選ぶようになる。

④① ③⑩ の芸術参照。

④② 実業家好適。実業家には形式論理よりも実利、実用が、また浅くとも広い知識と根気が必要とするMFとなる。

④③ 機智とは思いつき、ひらめき、語呂合わせなどで、論理も推理

も学習も必要でなく、唯必要なのは条件反射のみであるからC。

④④ 浪曲家並びに低音歌手はMF又は若Fの体格によって声量を、
二、三義の若は美音、技術、可塑性を与える。

④⑤ は③⑤ 参照。

④⑥

④⑦ 好奇心とは沢山の知覚を持つことで情報処理できない断続的知識であって、迷信的、奇蹟信者につながる。C又はCO。

④⑧ 天才的、狂人的も次の④⑨も同様で外向性性格。

④⑨ はCでヒステリーが多く、内向性性格者はOで精神分裂病或いは精神衰弱が多い。

⑤⑩ 幸運なる者はMF中心で、その他の運命論は各論に譲る。

第九章 八綱と八面

漢方医学の八綱理論には、病位、病性、病勢の三つの条件がありそれぞれ陰陽に分れていて、これが最も基本的なものであるから八綱といわれる様になった。

虚寒裏証	●	●	●
実寒裏証	○	●	●
虚熱裏証	●	○	●
実熱裏証	○	○	●
虚寒表証	●	●	○
実寒表証	○	●	○
虚熱表証	●	○	○
実熱表証	○	○	○

○は陽
●は陰

表裏

症状が陽側（上方、外方）へ向うものを「表証」といふ、陰側（下方、内方）に向うものを「裏証」と考える。すると患者の自覚症状で分類する場合は頭痛があれば表証で、腹痛があれば裏証とする上下関係と、発汗があれば表証で、小便頻数なら裏証とする内外関係である。

次に脈で分ける場合は指を軽く触れただけで感じる浮脈が「表証」で、強く押して始めて感ずる沈脈が「裏証」である。

寒熱

熱があると自分で熱っぽい自覚症状と、他覚的に体温計で計って始めて分る発熱があるが、常に赤い顔をした熱がり屋も「熱証」である。次に蒼白い顔をした寒がり屋や、冷症或は悪寒戦慄を伴うものが「寒証」である。

之を脈で分けると一呼吸に三以下の脈搏を遅脈といふ、「寒証」で一呼吸に六以上の脈搏を数脈といふ、「熱証」を表わすものとする。

これに前述の表裏を組合せると四つに分類出来る。

表熱証……頭痛、発熱、身疼。脈浮数。

表寒証……惡寒、發熱、身疼

裏熱証……口渴、舌苔厚黃、尿赤、脉沈数

裏寒証……吐、利、腹痛、肢冷。脈沈遲

虚 実

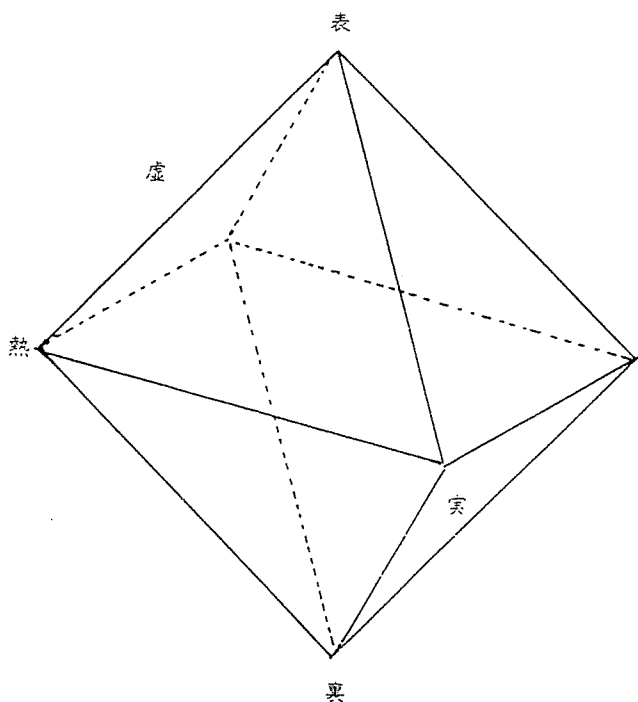
体の抵抗力の減弱したものを「虚」といい、病毒側の充実したものを「実」という。すると「実証」とは病毒側も盛んなら、体力も盛んな状態で、緊張と充実した体質のことをいい、「虚証」とは体の抵抗力の衰ろえた弛緩性、無力性体質のことをさしている。脈で分けると力の強い脈が「実証」で、力の弱い脈が「虚証」を表わしている。これに表裏を組合せると同じく四つに分類出来る。これに更

表実 無汗 裏実 便秘

表虚 自汗 裏虚 下痢

に寒熱を組合せると前述の八綱に分類出来る。この八綱と八面は相

対応していて、八面体の上半分は陽側だから表を表わし、下半分は陰側だから裏を表わすものとする。病位の陰陽が決ったから病性の



陰陽に移ると、八面体の左半分が陽で熱を表わし、右半分が陰となるから寒とする。更に病勢では緊張体質の後半を陽とし実を表わして、前半は弛緩体質で陰の虚を表わしている。(図参照)

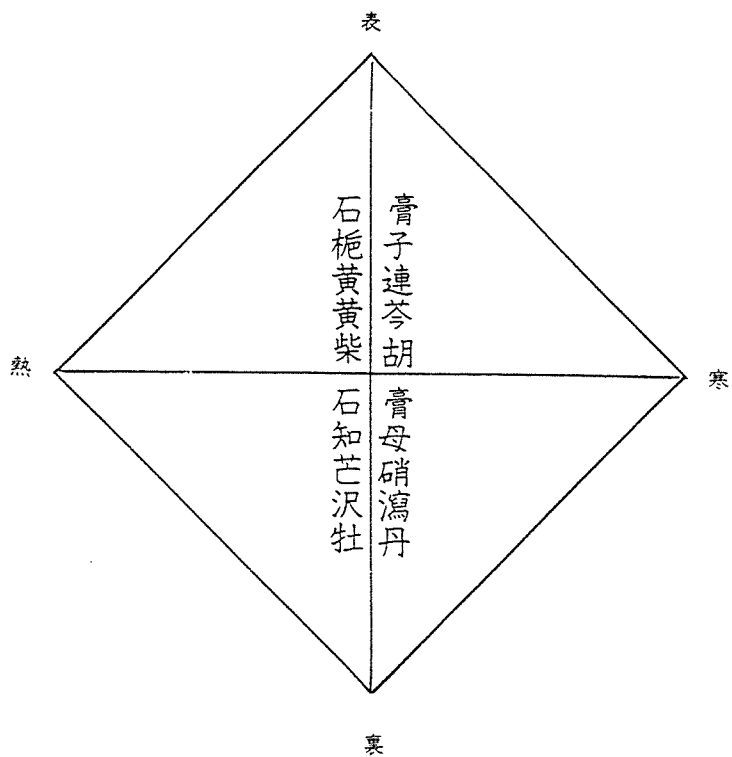
この様にして面と綱とを組合せると左の如くなる。

表虚寒証	童 面	裏実寒証	妾 面
表実寒証	若衆面	裏虚寒証	女 面
表実熱証	男 面	裏虚熱証	遊女面
表虚熱証	陰者面	裏実熱証	老 面

そこでこれ等の体質に生薬を配当すると、それぞれの体質と証とが合致することになる。

先ず熱を清ます生薬は、左端の八面体を正面に90°回転させて上部の清熱作用のあるものから順に下部に入れてゆく。

先ず表並に上焦の清熱作用のある石膏をトップに入れ、続いて心熱を清す梔子、黄連、黄芩と入れ、次で脇熱を清す柴胡、中焦の熱は石膏、知母。下焦の熱は芒硝、沢泻、血熱は牡丹皮で最下位に入



れて清熱劑を終る。

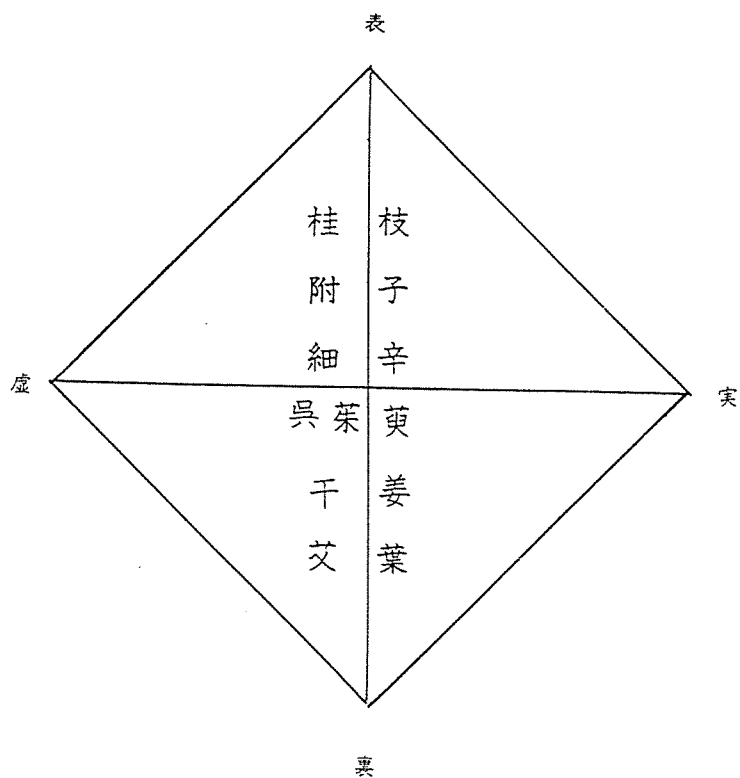
この裏側は溫劑を入れることになる。これも同様に表を溫めるものから順に裏へ、上焦を溫めるものから下焦を溫めるものへと上から下に入れてゆく。

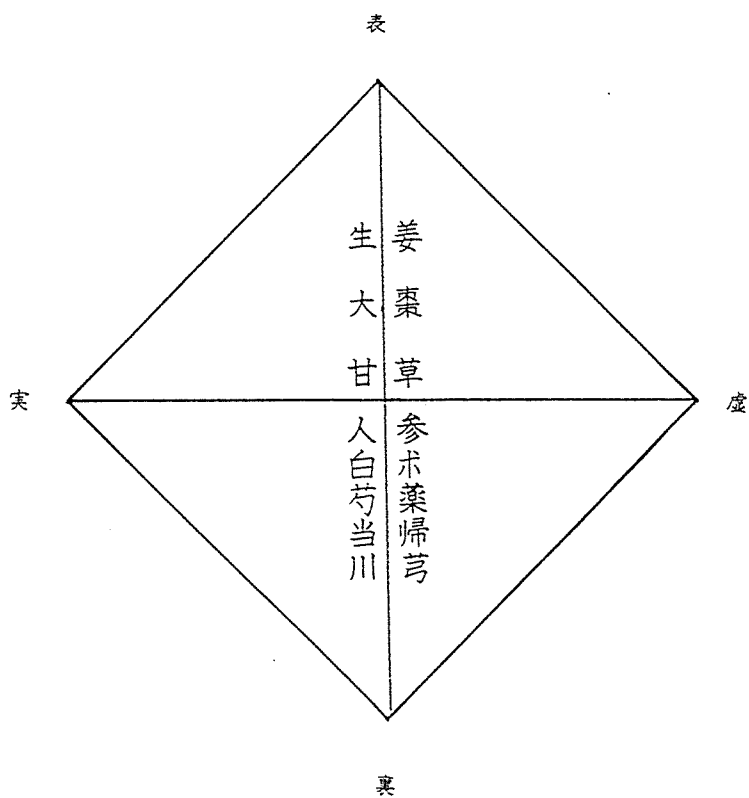
表を溫めるものとしては桂枝を上に入れ、次で附子、表裏にわたる細辛、胃を溫める呉茱萸、上焦、中焦、下焦を溫める干姜、血を溫める艾葉となる。

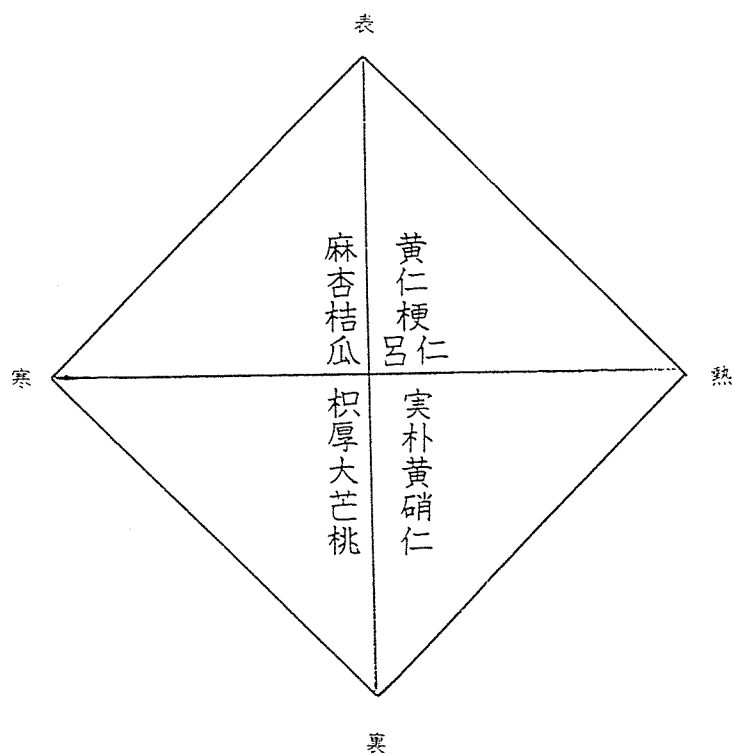
今度は虚実の番となるが先ず虚側から始める。上から始めると外や胸を補う生姜、大棗を入れ、胸胃を補う甘草、脾胃を補う人参、白朮、血を補う芍薬、当歸、川芎と下部に入れて終る。続いて実の渾劑は上から表の麻黄杏仁、胸の桔梗、瓜呂に、上焦の枳実厚朴、中焦の大黃、下焦の芒硝、血の桃仁となる。

そこでいよいよ面に対する代表処方構成してみよう。先づ寒側の四面から始める。

惡寒發熱頭痛があつて腰疼く患者は、惡寒頭痛。腰何れも表の部





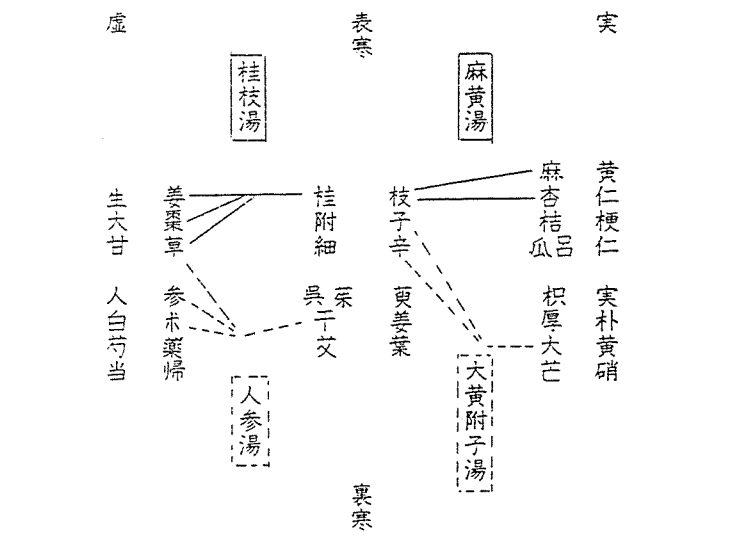
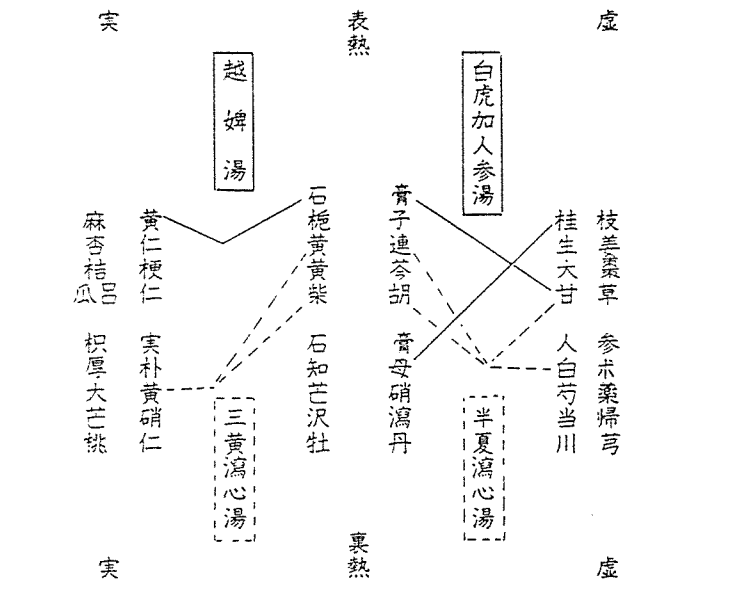


位で寒の表寒となる。この表寒は桂枝で発散させるところである。汗なければ実証で右隣の実側の麻黄杏仁を加えて麻黄湯が構成されると共に表寒実証は若衆面となるからこの様に患者の症状から証が決められるが、面が先に分つておれば直ちに表寒実証の麻黄湯証が決ることになる。

もし発汗していると虚証だから桂枝に補剤の生姜、大枣、甘草、芍薬を入れてゆくと桂枝湯が構成されると共に、これが表寒虚証の童面の代表処方である。

次に肢冷と下痢、腹痛があるとすると裏寒で虚証だから裏寒の干姜に脾胃の虚を補う甘草、人参、白朮を左側から加えると人参湯が構成されると共に女面の代表処方となる。

この様な症状でも下痢の代りに便秘する様なら裏寒実証で表裏にわたる寒だから細辛、附子を考え、実証の大黄を右の方から入れると、大黄附子湯という妾面の代表処方が構成される。



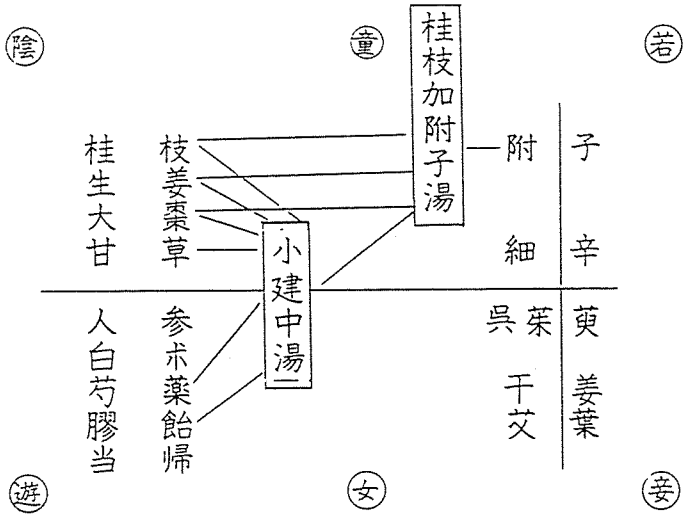
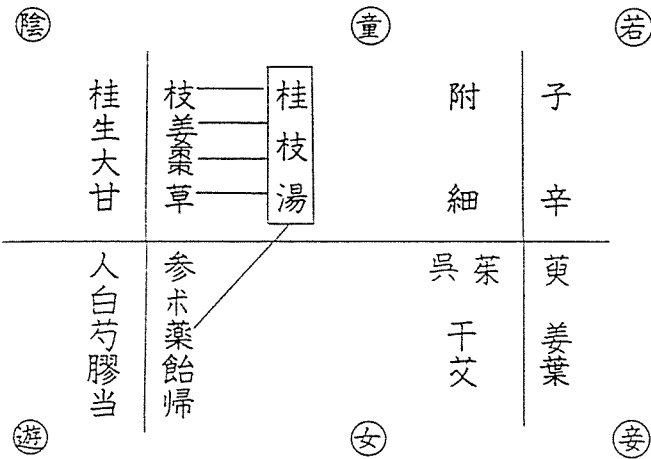
次に熱側の四面に移ることにする。熱があつて頭痛、身疼痛があれば表熱。汗、口渴、身重があれば裏熱となるが、表熱でも汗が出ておれば虚になるから、表熱の石膏に知母を加え、虚を補う甘草、粳米、桂枝を加えると白虎加桂枝湯の陰者面を構成する。もし汗なければ石膏に麻黄を加えた大青竜湯や、これから石膏を除いた麻黄湯になる。この様にして表実熱型の男面の処方が構成される。今度は裏熱となるが実証なら便秘、虚証なら下痢だから裏熱の黄連黄芩に実証の大黄を加えて三黄泻心湯となり老面を構成し、虚証なら黄連黄芩に人參、甘草、大棗を加えて半夏泻心湯の遊女面が出来上る。次に面の混合型を考えてみよう。先ず一部分他の面が混入するものから始めることにする。これには加減法を応用する。小柴胡湯の方後の加減に「腹中痛むものは黄芩を去って芍薬を加える」というのはこの腹痛は熱より虚によっておこるものだから清熱の黄芩を去り、芍薬を加えて裏虚の腹痛を治すものである。この小柴胡湯は半外半裏の熱に使用するものだから半外とすれば陰者面で、半裏とす

ると遊女面でどちらの面にも使える便利な処方であるが、この様に裏虚に傾くとこの面は女面に近い遊女面であることが分る。また男子であれば陰女面となり、陰者面に女面の一部分混入した面となる「また更に渴せず、外に微熱するものは人参を去り桂枝三・〇を加える」とは、この口渴は裏熱によつて亡津液によるものだから人参が要るものであり、渴せずなら人参は不要で裏熱はなく、外に微熱だから表熱であることが分るから桂枝を加えることが分る。そうするとこの面には童面が混入していることになる。また「咳には人参大棗生姜を去り、五味子三・〇干姜二・〇を加える」とは、小柴胡湯で止まらない咳は亡津液よりも寒だから、津液を生ずる人参大棗生姜を去り、温剤の五味子と干姜を加えるので、この面には前者より更に童面が混入する。

今度は桂枝湯の加減法を考えてみよう。桂枝湯は表虚寒に位置していて童面の代表処方であるが、この桂枝湯に芍薬を加えると表から裏へ病位が変るから当然面も童面から女面へと混合型になる。更

に膠飴を加えた小建中湯は童面よりも女面の強いタイプとなる。また桂枝加大黄湯になると童と老の混合型になる。この様に加減法は一部分化の面の混入する時に応用出来るが、これが半々位に入ってくる、処方もやはりその様に寒剤と熱剤と一諸に配伍したり、表剤と裏剤を一諸に配伍した処方となる。寒剤と熱剤と一諸にしたものに柴胡桂枝干姜湯があり、上熱下冷に効くから上熱は上停老面を下冷は下停童面であり、老童面或は童老面の混合面となる。次に表剤と裏剤の混合は表剤の桂枝に、裏剤の人參湯を混合した桂枝人參湯がある。裏寒の女面と表虚の童面の混合面となり、童女面となる。最後に表裏にまたがった半外半裏の小柴胡湯は、陰者面と遊女面の混合型に使うというよりも、むしろ陰者面でも遊女面でもどちらでも使えるということ、その点白虎湯でも同じことが云える。その隣りの男面でも老面でもどちらでも使えるものに大柴胡湯がある。また若衆面でも妾面でもどちらでも使えるものに小青竜湯があり、童面と女面には四逆湯がある。次の図は桂枝湯の正しい位置から、

加減法によってどの様な面へ移行してゆくかを表したものである。



第十章 ミネラルと八面

ミネラルの個々の働きはそれぞれの専門書にゆずるとして、本論ではその体質に及ぼす影響のみをとり上げてみよう。

ナトリウムとカルシウムは何れも細胞外液にあって、滲透圧の關係から細胞水を奪う様に働くから陽側に入れる。

次にカリウムとマグネシウムは細胞内液にあって同じく滲透圧の關係から、細胞外液から水を奪う様に働くからこの両者を陰側に入れる。

次にナトリウムとカルシウムの相違点はナトリウムはカルシウムよりも水にとけ易い為に吸収も早いが排泄も早い。また酸の中和作用もカルシウムの半分だから陽中の陰である。

陰性のカリウムとマグネシウムにも同様な理由からマグネシウムが陰中の陰とするとカリウムは陰中の陽である。

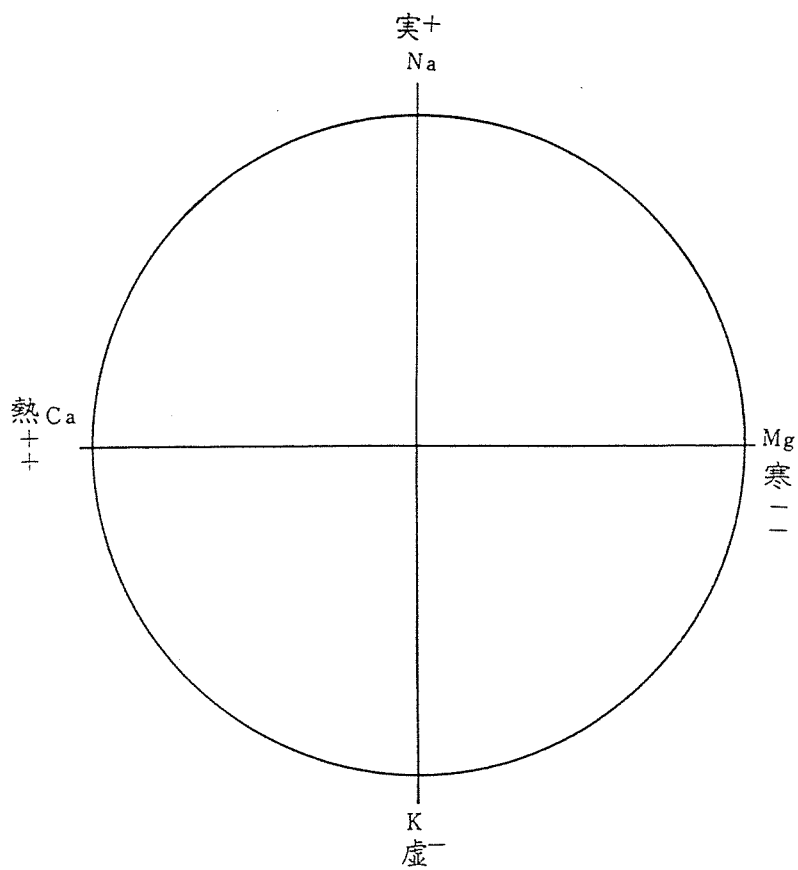
次にナトリウムとカリウムの働きはナトリウムは締める、縮める働きがあり、カリウムにはその反対の緩める、弛める働きがある。

家庭にあるナトリウムと云えば食塩で、メ鯖を作るときに酢と共に使いますからメめる、締める作用はお分りになるでしょう。

これを人体に応用しますと、悪酔したときや、誤って毒物を服んだ時に、吐かせる目的で飽和食塩水を服ますのは胃袋を縮めて吐かせる為なのです。これを治療面に応用して拡張し過ぎた胃袋（胃拡張）や、たるみ過ぎた胃袋（胃アトニー）の治療のみならず伸び過ぎた腸（脱肛）の治療にも応用が出来ます。

この逆で縮み過ぎたものを伸したり、締り過ぎたものを緩めたりする目的にカリウムが使用されます。

我国古来からの調理法として有名な芋蓐、芋棒蓐、豆昆布、西洋料理では「シチュー」などは鯖、鰯、昆布、肉等は何れも硬くて食膳に供することが出来ないから、カリウム分の多い芋類、豆類、菜と共に煮つけるとカリウムの軟化作用によって軟熟して、おいしく



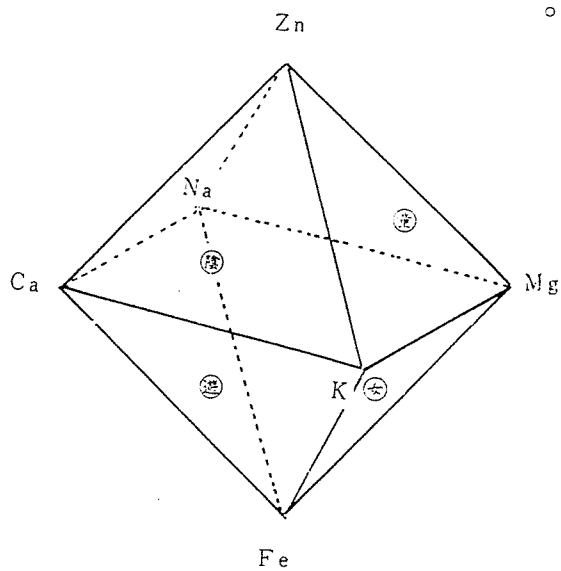
食べることが出来る様になる。

之を人体に応用すると胃痙攣、胆石痛、月経痛等の痙攣性疼痛に広く応用出来る。試みに月経痛の患者に硝酸カリウム二gも頓用させて御覧なさい。そのキキメに驚ろかれることでしょう。

この様にナトリウムとカリウムは陰陽に配置して、これに直角に交わる様にカルシウムとマグネシウムを配置します。

こうするとナトリウムは＋とするとカリウムは－となり、カルシウムは＋となり、マグネシウムは＝となります。丈夫な子供を＋とし、病弱な子供を－とする。そうすると丈夫過ぎる（＋）子供は粗暴になり、病弱過ぎる子供は陰険になる（＝）様にカルシウムやマグネシウムはナトリウムやカリウムの二倍の働き以外に精神作用にまで影響を及ぼします。この使い方は、カルシウムがアチドージスの中和剤として使われる以外に、虚弱体質や滲出性体質の改善剤、更に成長促進↓老化剤として使われる所に意義があります。

一方マグネシウムは青汁療法の主体をなすもので、血液の浄化や



若返り剤として、カルシウムの老化剤と拮抗する。
 更にこの平面に直角に交わる様に上下に亜鉛と鉄を入れるとミネラル八面体が出来る。
 漢方薬と同じ様に三つのミネラルで囲まれた所に面を入れると左の通りになる。

妾	若	男	老	遊	陰	女	童
	衆			女	者		
面	面	面	面	面	面	面	面

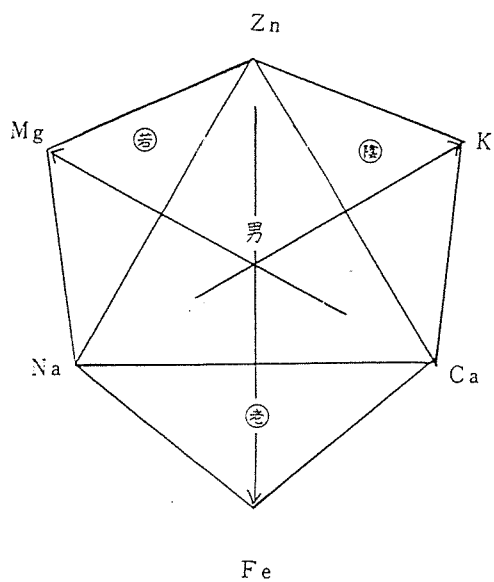
Fe	Zn	Zn	Fe	Fe	Zn	Fe	Zn
Mg	Mg	Ca	Ca	Ca	Ca	Mg	Mg
Na	Na	Na	Na	K	K	K	K

男面の体質改善法

老面化するにはZnを制限しFeを摂る。

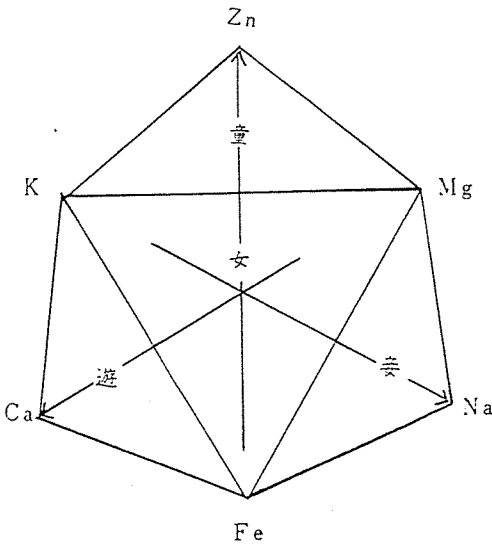
陰者面化するにはNaを制限しKを摂る。

若衆面化するにはCaを制限しMgを摂る。



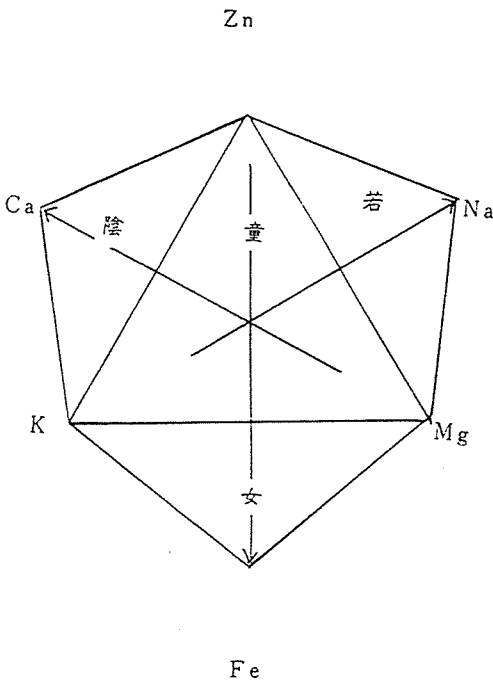
女面の体質改善法

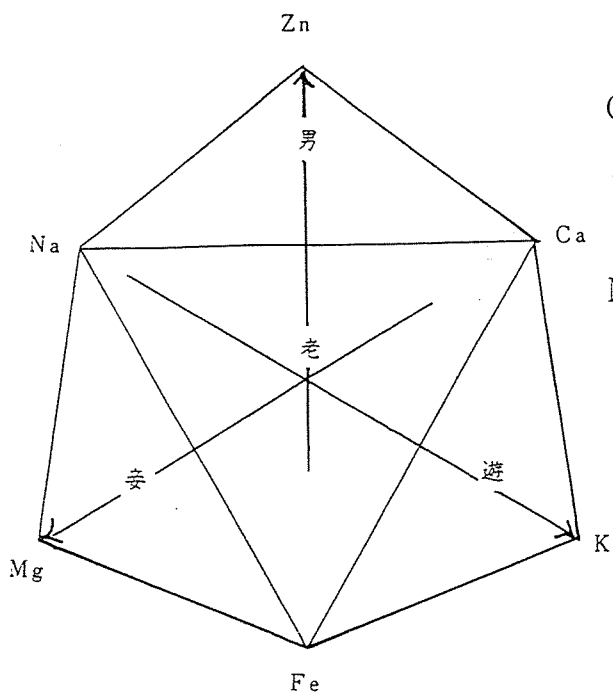
童面化するにはFeを制限しZnを摂取する。
 妾面化するにはKを制限しNaを摂取する。
 遊女面化するにはMgを制限しCaを摂取する。



童面の体質改善法

若衆面化するにはKを制限しNaを摂らせる。
 女面化するにはZnを制限しFeを摂らせる。
 陰者面化するにはMgを制限しCaを摂らせる。





老面の体質改善法
男面化するには Fe を制限し Zn を摂取する。
遊女面化には Na を制限し K を摂取する。
妾面化には Ca を制限し Mg を摂取する。

それでは體質改善の二、三例をあげてみよう。M市に住む三十歳の独身女性。その母親からの依頼で「早く結婚させて孫の顔がみたい」という。何とか結婚する気にさせてくれという注文です。幸い毎月経痛で一週間程仕事を休むので、その治療という口実で出掛けました。面は二、三義の男面で、原因はその食事らしい事に気がついた。というのは三食共蟹の塩漬を茶漬にして二杯という変わった食事です。蟹の甲羅は炭酸カルシウム、食塩、つまり塩化ナトリウム。蟹の身は涼泻（後述）で、ミネラルの位置では M_g に近い。そこでこの男面は三通りの変換法がある。つまり M_g 、K、 F_e である。一時的に緩めるものならK。持続的に緩めるものなら M_g 。貧血性のものなら F_e という事になるが、結婚して子供も生むとなると身心ともに可塑性が要求される。そうなる M_g 以外に考えられない。更に蟹の涼（ M_g ）泻（K）も考えに入れて水酸化マグネシウムの錠剤を二g宛服用させて鎮痛させました。のちに良縁があったと聞きましたが、果して孫の顔を見ることが出来たかどうかは連絡がありません。こ

の様に男面の改造はそのまゝの状態で柔軟性を加えるのならKの陰者面へ、心身共柔軟にするのならMの若衆面へ改造する。

女面はこの逆で、そのまゝで緊張性を持たせるのならNの妾面へ心身共強硬にするのならCの遊女面へ改造する。

童面と老面は何れも病体質であるから、他の面へ変えるよりも、健康体の男面から女面へ変えるのが理想的で、しかもZかFのどちらかを他方に変えるだけで、簡単に目的を達することが出来る。

これを事例で示すと更年期障害に悩む女性に卵胞ホルモンの注射よりも、男性ホルモンの注射の方が効果的である。つまりすでに脱落した卵巣に卵胞ホルモンを注射しても、そのホルモンが排泄されてしまうと元の空阿弥にもどってしまうが、男性ホルモンを注射してやると、更年期から男性化する傾向を男性ホルモンが助長してやることになり、女性から男性化する途上の苦悩（更年期障害）をとり除いてやることになるからである。

これを先程の八面変換法に当てはめると、老面化した女子は、女

面にもどすには $N_a \downarrow K$ と $C_a \downarrow M_g$ への二つの難関を突破しなければならぬが、男面にもどすのなら $F_e \downarrow Z_n$ の一つの関門だけ突破すれば目的を達成出来るからである。

もう一例ミネラル療法の犠牲になった話をお知らせしよう。

二十八歳男子結核患者、若衆面。その妻君の話によると只今入院中で、あちらこちらの先生の指導で食養もやっているがはかばかしくないと言ふ。六月下旬というのに股引二枚もはいているのでそんなに冷えるのかと尋ねると、青汁療法をやり始めてから冷えたたと答える。青汁療法とは葉緑素療法で、葉緑素療法はポルフィリン核の真中の M_g 療法である。寒剤だから体が冷えてくるのは当然でしょう。若衆面は Z_n 、 M_g 、 N_a 体質だから、 $M \downarrow C_a$ に変えて男面の健康体に変えるべき所を M_g 療法をやったのでは、返って悪化するばかりだ。そこで玄米食療法に変更した。「玄米は白米よりも十八倍も K が多いから之等の毒消しに食塩一つまみかけて食べる様に」と教わった、という。この通りに実行したら、今度は足が腫れて来た。

また最近になって一度も口にした事がなかった饅頭が食べたいと言
い出した。一体どうしたらいい、んてしようと困りはてゝいる。

お茶碗一杯の玄米飯に含まれるミネラル量は、ほぼ三〇〇mg、五
〇〇mgだから、一g以内の食塩を与えればよかったのに、一つまみ
の食塩をふりかけた。一つまみの食塩とは、手加減にもよるが、二
本指でつまむと一g程だが三本指でつまむと三g、四gつまむこと
が出来る。(普通は三本指でつまむ)すると一日三食で九g、十二
gの食塩を摂り、またお菜にも塩分は含まれているから十五g、二
十g近い食塩をとっていた事になる。スポーツとか重労働で汗をジ
ヤン／＼かけば害はないが、寝たきりの病人じゃ当然足も腫れて来
るでしょう。そしてこの有害なNを排泄すべくKの利尿剤を体が要
求する様になり、Kの多い豆類、芋類をあんこに作った饅頭がほし
くなった次第です。

第十一章 食養と八面

自然食品や生薬には氣味という言葉があつて、氣とは寒熱温涼の意味で体を冷したり温ためたりする働きがあり、味とは所謂五味のことて酸、苦、甘、辛、鹹（しおからい）の三つで、それぞれに次の様な生理作用を持っている。

酸は收斂作用があり、苦は有余を泻す。甘は虚を補う。辛は発散する。鹹は浮下作用と堅いものを軟化する働きがある。この様な作用を漢方薬の様に熱証には涼剤を、寒証には温剤を、虚証には甘、実証には苦と応用すると一応理論上の八綱食養法或は八面食養法が完成する。

但し実際上には発散食と浮升食（或は沈降食と收斂食）が一致しないものも多く、表裏の区別つかない食品が多いので、寒熱虚実の四分類にして、更にあまり市販されていない食品は除外して表にしてみよう。

	補		瀉	
	温	涼	温	瀉
穀類	餅落大統小 花 麦 米生豆豆粉	白薏大、黑豆 苡小 米仁麦豆腐		蕎小緑 麦豆豆
野菜類	韭葱 薤生大人 南白 白姜根参 瓜菜 蕪 蓬	ほうれん草 シタス 合 び根 チレ 百 わ蓮 芹 筍ら	にんにく 芥きのとう 蘇どう ふ紫山 ぼ ご	くわい 胡瓜瓜瓜 系白スパ アトマ 茄 茄 子
海藻類				海藻類
果実類	栗 銀 杏 く 梅 み り 桃 ご 松 の 実	柿	杏 パイナップル	瓜 西メ ロ 李 梨 ぼ ン ぎ ナ ナ バ ミ カ ナン

補			瀉	
	温	涼	温	瀉
魚介類	鮎 海牡 老蛎 鱒鯉	鯛 田 蜆 た	くらげ	蟹
鳥獸類	牛羊 鶏	肉肉 肉 牛鴨 馬	乳肉 肉 肉	
調味料	辛胡 山 とうがらし	子椒 椒 砂 塩 蜂	糖 蜜	酢
嗜好品	酒 飴		煙 草 コーヒー	茶

先ず童女面の虚寒体質には温補食を与える様にして、次々と面に食を対応させると次の様になる。

童女面 虚寒体質 温補食

陰遊面 虚熱体質 涼補食

男老面 実熱体質 涼渾食

若妾面 実寒体質 温渾食

前述の表から分るように煙草やコーヒーは一般に悪いと信ぜられているが、神経痛やリューマチなどの寒実体質には反って良いもので、この体質の人が煙草やコーヒーを制限されて反って悪化する場合が多い。

また市販のニンニク製剤はこの様な寒実体質に良く効くものだから、ニンニク剤の効く体質か否かを調べるにはコーヒーの好き嫌いを問い尋ねると良い。つまりコーヒーで胃が悪くなる人はこの体質でないから、ニンニク剤で当然胃を悪くするだろう。

また朝鮮人參は寒虚体質に効くのだから、実熱体質の高血圧患者

が服むと悪化するといわれているのは当然と云えよう。

お正月にはどこの家庭でもミカンを山積にして食べる習慣があるが、ミカンは甘寒だから咳の持病持ちにはミカンよりもリンゴの方がよろしい。

最後に漢方薬と食養を総合した治験例をお知らせして八面漢方と食養のしめくゝりしよう。

三十四歳男子。生来の宿病のアトピー性皮膚炎で尋ねて来た。皮膚は乾燥し、赤く、掻痒が烈しくて夜も熟睡が出来ないという。また口渴が烈しい。口舌乾燥を石膏の証とし、清熱と潤燥の知母を考えると白虎湯になる。面は中停に老面が入っている。この中停の老面が病因と考えられるから中焦を潤す人参を加え白虎加人参湯を与えた。二三ヶ月服用してすっかり良くなったが越年して再発した。

よく事情を聞いてみると正月に田舎で餅と海老をたらふく食ってそれから間もなく悪化して来たという。表によると餅は甘温、海老も甘温で熱病なら必ず悪化する食品である。一方漢方薬の石膏は辛

微寒、知母は苦寒、梗末は甘微寒、人參は甘微寒で殆んどの藥が寒劑で構成されている。だからこそ二十年來の宿痼を退治出來たのである。それを餅や海老で溫めたものだから即ちぶり返したのであった。再度白虎湯一ヶ月分と涼渾の食品表を与え、煎じ葉を服み終つたらこの涼渾食品以外は当分口にしない様に、と厳しく言い付けておきました。

引用文献

李 時珍

本草綱目

張明澄著

體質別の食事療法

あ と が き

「八面体質論詳解」は、ここ十数年にわたり、沖縄から北海道までの各地在住の研究家に講義してきたものの総まとめであり、受講者の要望に応えるべく詳細を尽したつもりである。はじめて本書を手に取りられたという人には、まだむずかしいかも知れないが、熱心に繰返し読んでいたれば、おわかり戴けると思う。今後機会を見て各地で講習し、充分に習得してもらえようように努力するつもりであるが、本書によって勉強された人達どうし、横の関係をもち、互いに研究を交換できるようにすれば、と思い、研究会を持たれることをお奨めする。著者のもとへお問合せあれば、その地方の篤学者、研究家を御紹介し連絡できるよう計ります。

〒567 茨木市若園町一三—二二

竹 安 輝 高

又は、
〒556 大阪市浪速区下寺町三ノ三
(易学会館内)

日本和漢薬研究所

八
面
研
究
・
要
錄

昭和三十三年十二月八日印刷
昭和三十三年十二月十四日発行

著者 竹 安 輝 高

〒567 茨木市若園町一三一二

発行者 日本和漢薬研究所

〒556 大阪市浪速区下寺町三ノ三

(易学会館内)

電話 06 6441・8561 番
643・1821 番

〈八面研究関係書籍〉

目黒玄竜子著
紀藤元之介校訂

蒙色望診（全）

頒価 一万円
送料 五百円

目黒玄竜子著
紀藤元之介校訂

色情人相学

頒価 三千円
送料 二百円

目黒玄竜子著
紀藤元之介校訂

八面律発生機序

頒価 一万円
送料 五百円

「蒙色」・「八面」研究発表の
月刊誌『実占研究』一年分下共三千三百六十円

〒556

大阪市浪速区下寺町三ノ三
（易学会館内）

実占研究会